

都市政策関連住民説明会

～第2次熊本市都市マスタープラン(地域別構想)の見直し案～

熊 本

次第

1. 開会
2. 挨拶
3. 説明

- ・第2次熊本市都市マスタープラン(地域別構想)の見直し案
- ・都市計画道路見直しに向けた取組み

4. 質疑応答
5. 閉会

連絡先：熊本市都市政策課 【担当】徳田、石川、谷川
TEL : 096-328-2502
メール : toshiseisaku@city.kumamoto.lg.jp



説明の流れ

- ① 熊本市都市マスタープランとは
 - ・全体構想
 - ・地域別構想

- ② 熊本地震

- ③ 熊本市都市マスタープランの見直し
 - ・全体構想の見直し
 - ・地域別構想の見直し(案)

**【参考】 各区の災害リスクと対策基盤
各区の都市防災
立地適正化計画**

① 都市マスタープランとは

① 都市マスタープランとは
(都市計画法第18条の2に基づく計画)

① 熊本市都市マスタープランとは

○熊本市においては、
第2次熊本市都市マスタープラン（全体構想）と（地域別構想）がある。

全体構想

（平成29年8月に見直し）



第2次
熊本市都市マスタープラン
全体構想

**まちづくりの方向性
を示すもの**

地域別構想

（**今回見直し案**）



KUMAMOTO CITY

第2次
熊本市都市
マスタープラン
地域別構想
平成26年3月策定

**取組みの方向性
を示すもの**

① 都市マスタープランとは

目的、役割、効果

◆目的

今後の**熊本市の都市計画の長期的な方向性**をわかりやすく示すことで、市民等と行政が将来に向けた**都市のビジョンを共有**し、それぞれの役割を認識して実効性のある施策や取り組みを積み重ね、市民や来訪者の豊かな生活や活発な経済・社会活動を実現することが目的

◆役割

- ① 熊本市の豊かな市民生活や活発な経済・社会活動を支えるための、都市計画分野の**長期的な方向性を体系的に明らかにする**。
- ② 今後、熊本市が定める個別の**都市計画の基本的な方針**となる。

◆効果

- ① 市民の生活設計や事業者の事業設計の長期的な指針としての活用
- ② 都市づくりに関連するさまざまな施策の総合的かつ計画的な実施
- ③ 広域的な都市計画を始めとする国や県の施策にその趣旨を反映

① 都市マスタープランとは「全体構想」

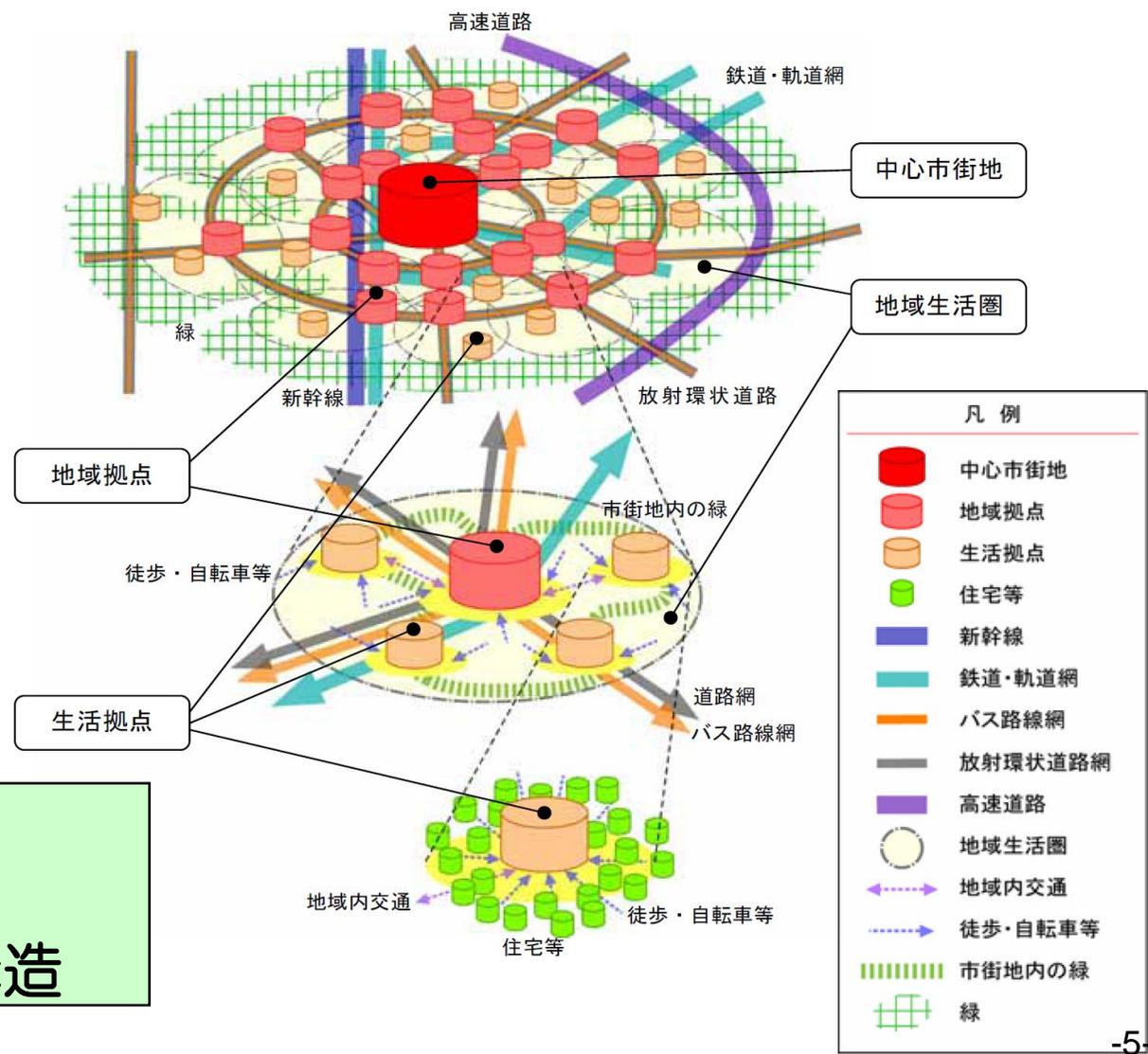
○熊本市の都市計画の長期的な方向性を分かりやすく示すもの。
⇒「多核連携都市」という、まちづくりの方向性を示すもの。

第2次熊本市 都市マスタープラン (全体構想)

将来像

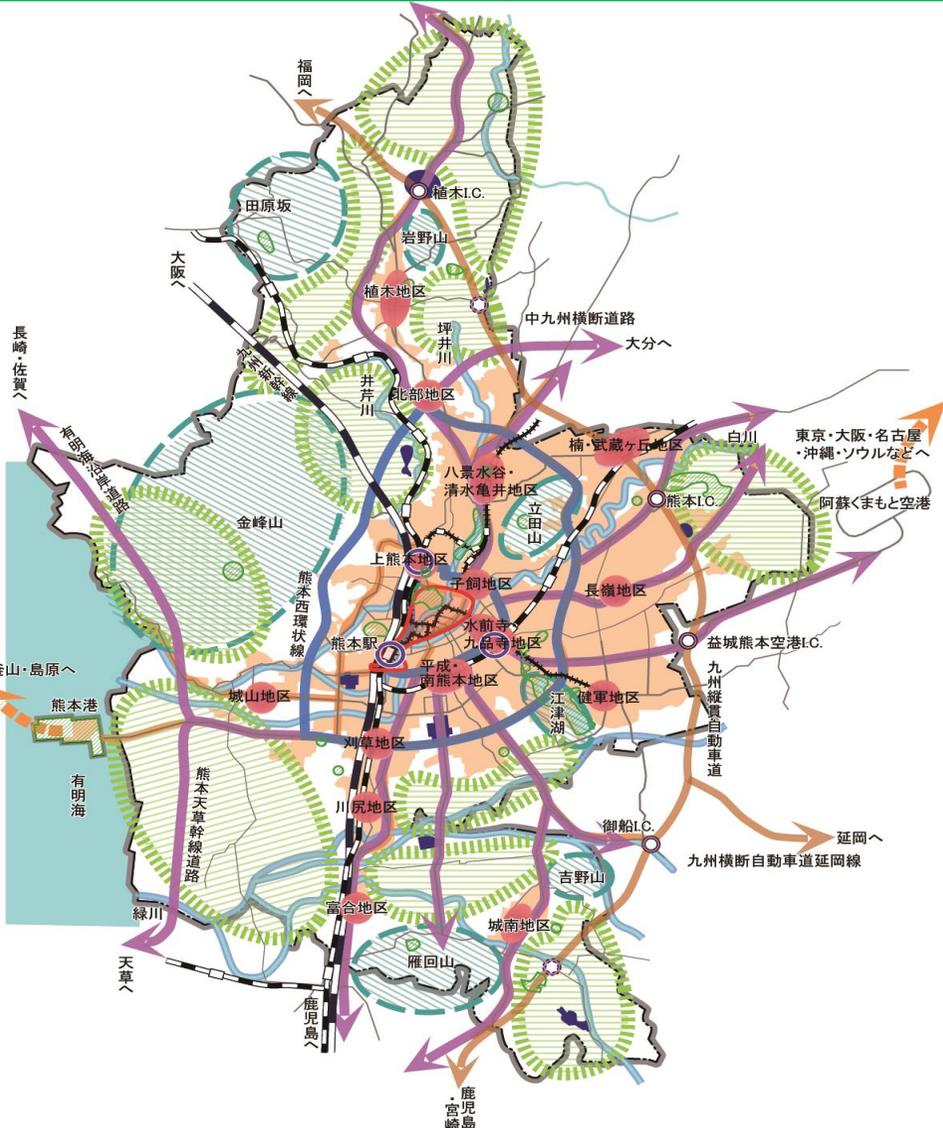
『豊かな水と緑、多様な
都市サービスが支える
活力ある**多核連携都市**』

中心市街地と15箇所の
地域拠点を、利便性の高い
公共交通等で結んだ都市構造



① 都市マスタープランとは「全体構想」

中心市街地や地域拠点などから諸機能が段階的に立地する
秩序ある市街地の構成を目指す



NO	地域拠点
1	植木地区
2	北部地区
3	楠・武蔵ヶ丘地区
4	八景水谷・清水亀井地区
5	子飼地区
6	長嶺地区
7	水前寺・九品寺地区
8	健軍地区
9	平成・南熊本地区
10	刈草地区
11	富合地区
12	城南地区
13	川尻地区
14	城山地区
15	上熊本地区

① 都市マスタープランとは「地域別構想」

- 多核連携都市の実現に向けた取組みの方向性を示すもの。
- 各区の範囲ごとに都市政策上の主な取組みを体系的に明らかにするもの。

基本方針

熊本市における今後の都市づくりにおいては・・・

- ① **中心市街地や地域拠点における都市機能の維持・確保**
- ② **公共交通ネットワークの充実**
- ③ **拠点周辺や公共交通の利便性が高い地域における人口密度の維持**

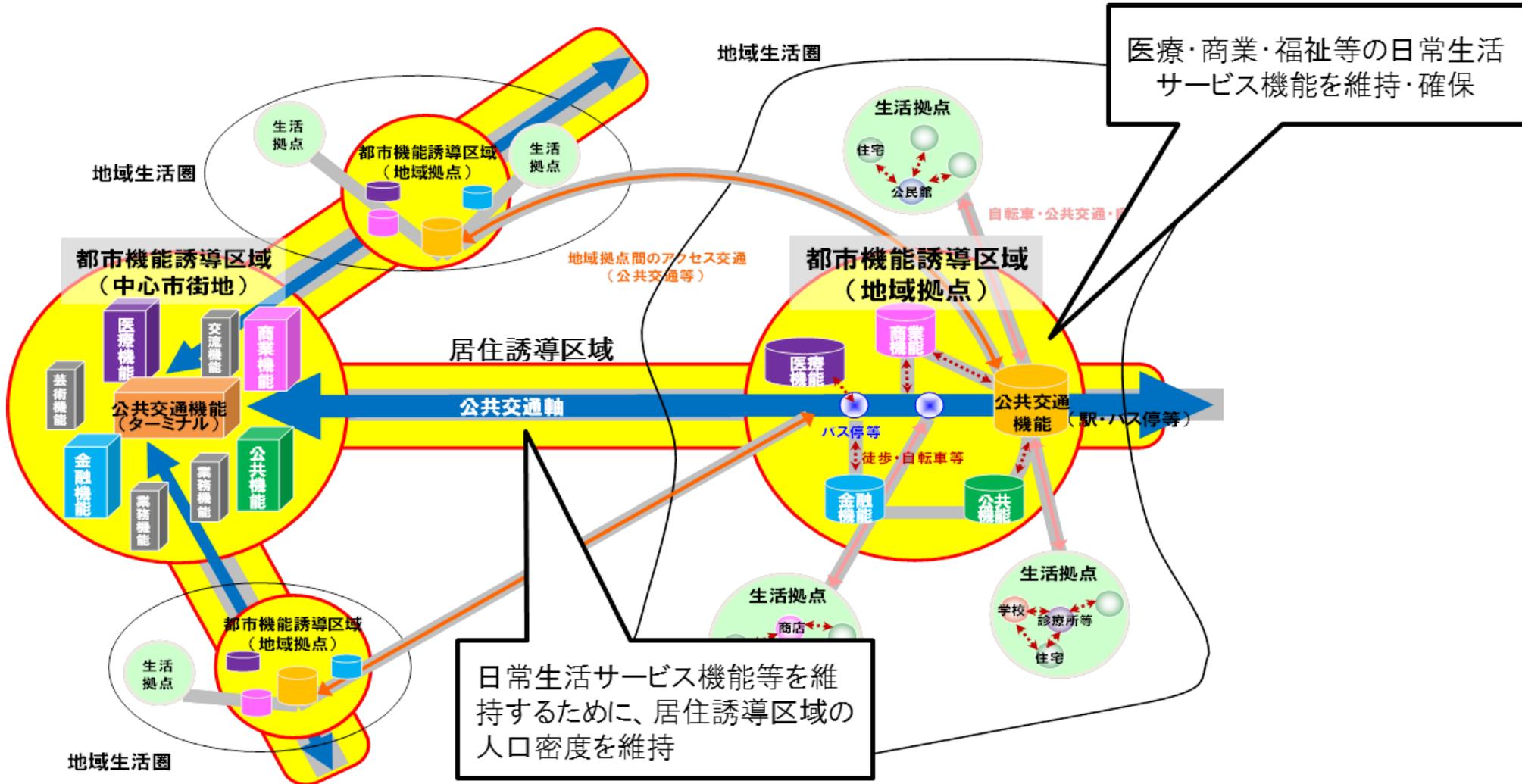


**人口減少の中でも生活サービスや地域コミュニティが持続的に確保される
多核連携都市を形成！**

高齢者や子育て世代にとっても利便性の高い生活環境が実現されるとともに、将来の人口と財政の見通しを適切に踏まえ、都市経営の効率化を図ることで、長期的にも都市活力が維持できる、**持続可能な都市**を目指します。

① 都市マスタープランとは「地域別構想」

多核連携都市構造のイメージ

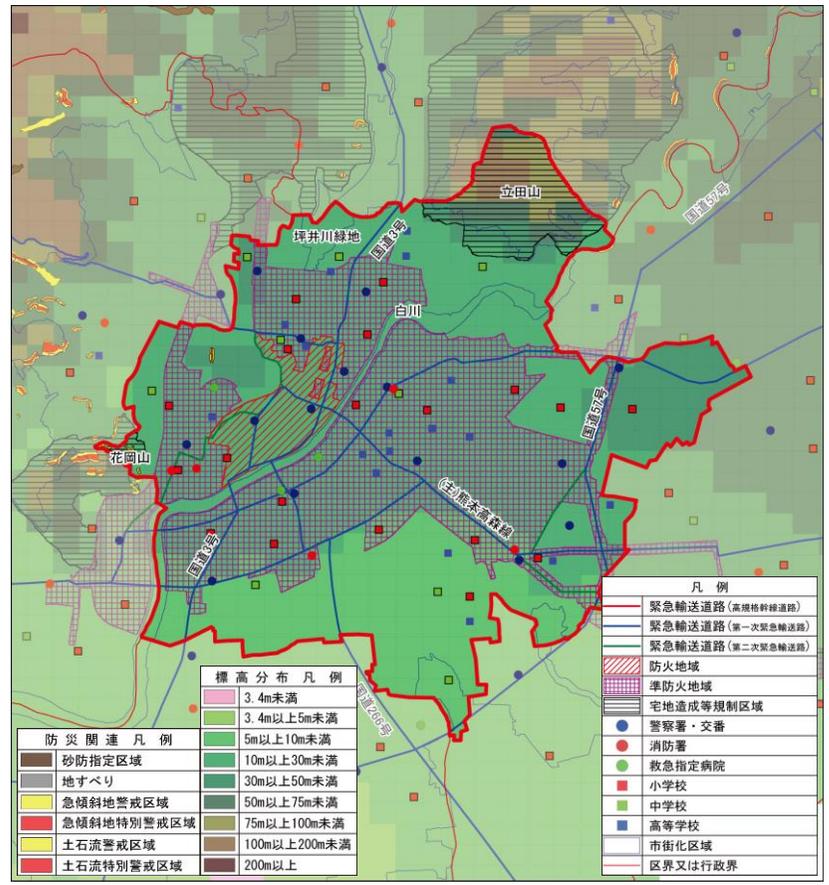


① 都市マスタープランとは「都市防災」

「都市防災」

- 各区の特性（災害リスク等）を整理し記載。
- 各区の特性を踏まえ、都市防災に関する取組みを記載。

各区の災害リスクと対策基盤



▲防災関連図(中央区)

都市防災

- (1) 都市の防災構造化
- (2) 災害を拡大させないための施設整備
- (3) 自助・共助の精神のもと、市民全体の地域防災力の向上を図ります。
- (4) 災害発生時に的確な対応ができる危機管理体制を整備します。

② 熊本地震

(平成28年4月14日、16日)

② 熊本地震

熊本地震の概要

- 震度7の地震が立て続けに2回発生(観測史上初)
- 一連の地震で震度6弱以上の地震が7回発生(観測史上初)
- 最大避難者数は11万人にも及んだ



② 熊本地震

被害状況

●人的被害（平成30年3月31日現在）

死者 : **85**人（直接死6人 関連死79人）
重傷者 : **763**人

●住家被害(り災証明書交付件数)（平成30年3月31日現在）

全壊 : **5,763**件
大規模半壊 : **8,952**件
半壊 : **38,867**件
一部損壊 : **81,907**件

橋梁や道路被害



建物の倒壊



② 熊本地震

熊本地震で発生した様々な課題

【インフラ】

- ・インフラや公共施設、公共交通機関等に被害が生じ、市民の生活に大きな支障をきたした。

【都市機能】

- ・商業・医療等の都市機能が被害を受け、発災直後の食糧・医療等の確保が困難であった。

【建築物・宅地】

- ・多くの住家被害や液状化・擁壁崩壊などの宅地被害が生じた。

【避難所】

- ・広域避難場所や指定避難所だけでは、11万人にも上る避難者に対応できずスペースが足りなかった。



③ 熊本市都市マスタープランの見直し

③ 熊本市都市マスタープランの見直し

○熊本地震等の課題を踏まえ、災害にも強い多核連携都市の実現に向けて、より防災・減災を意識した見直しを行う。

全体構想

(平成29年8月に見直し)

第2次
熊本市都市マスタープラン
全体構想



**まちづくりの方向性
を示すもの**

地域別構想

(今回見直し案)

KUMAMOTO CITY

第2次
熊本市都市
マスタープラン
地域別構想

平成26年3月策定



**取組みの方向性
を示すもの**

見直し
内容を
反映

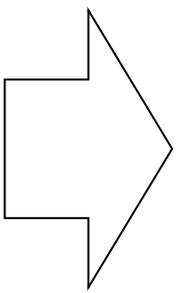
③ 熊本市都市マスタープランの見直し「全体構想」

「都市防災の方針」を見直し

- 震災復興計画等を踏まえ、既存施策を再整理し、新たな施策の追記。
- 災害にも強い多核連携都市を主眼に、更には分かりやすさを考慮し、**都市防災の方針を以下の3つの柱で再整理。**

見直し前

- (1) 都市の防災構造化
- (2) 災害を拡大させないための施設整備
- (3) 自助・共助の精神のもと、市民全体の地域防災力の向上を図ります。
- (4) 災害発生時に的確な対応ができる危機管理体制を整備します。



見直し後

- (1) 災害に強い都市基盤の形成
- (2) 災害時でも機能する拠点整備
- (3) 市民・地域・行政の災害対応力の強化

③ 熊本市都市マスタープランの見直し「全体構想」

(1) 災害に強い都市基盤の形成

- 【都市施設の防災・減災対策】【建築物・宅地の防災・減災対策】【災害リスクの提供と活用】について、具体的な施策の体系を記載。

幹線道路等の早期整備
橋梁の耐震化

耐震診断や耐震改修の促進
耐震診断士等の育成

各種ハザードマップを
積極的に市民へ周知

(2) 災害時でも機能する拠点整備

- 【中心市街地】【地域拠点】【災害対応に必要な拠点】の各拠点が災害時に果たすべき役割や今後の取り組みを整理。

中心市街地や地域拠点の
医療・商業施設等の耐震性の向上

桜町・花畑地区や熊本駅周辺地区の
官民連携したエリア全体で防災・減災機能の強化

(3) 市民・地域・行政の災害対応力の強化

- 市民・地域・行政が担うべき役割等を整理し、「自助・共助・公助」に関する効果的な取り組みを記載。

3日間程度を自らでしのげる
食料・水等の備蓄の促進

地域版ハザードマップの策定や
自主防災クラブ等の活動を支援

備蓄計画を見直し
応急仮設住宅建設予定地の確保

③ 熊本市都市マスタープランの見直し「地域別構想」(案)

○熊本地震等の課題を踏まえ、災害にも強い多核連携都市の実現に向けて、より防災・減災を意識した見直しを行う。

全体構想

(平成29年8月に見直し)

第2次
熊本市都市マスタープラン
全体構想



**まちづくりの方向性
を示すもの**



地域別構想

(今回見直し)

KUMAMOTO CITY

第2次
熊本市都市
マスタープラン
地域別構想
平成26年3月策定

**取組みの方向性
を示すもの**

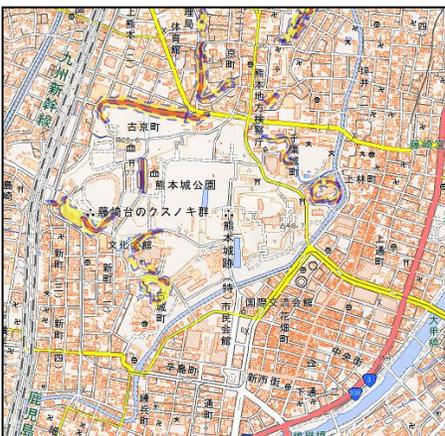
③ 熊本市都市マスタープランの見直し 「地域別構想」(案)

災害リスクと対策基盤

○各区に存在する災害リスクを分かりやすく明示。
⇒ 『**地震災害時**』 『**津波災害時(西区と南区のみ)**』 『**風水害時**』 に分け整理。

●各種ハザードマップ等を活用し、関連する災害リスクや避難場所等を分かりやすく図示

・土砂災害



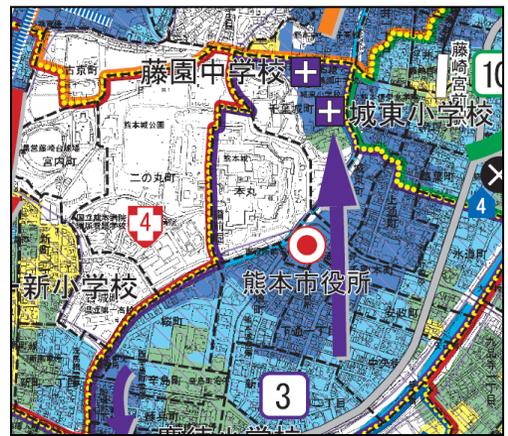
・液状化ハザードマップ



・津波ハザードマップ



・洪水ハザードマップ



災害リスクを
重ね合わせて表示

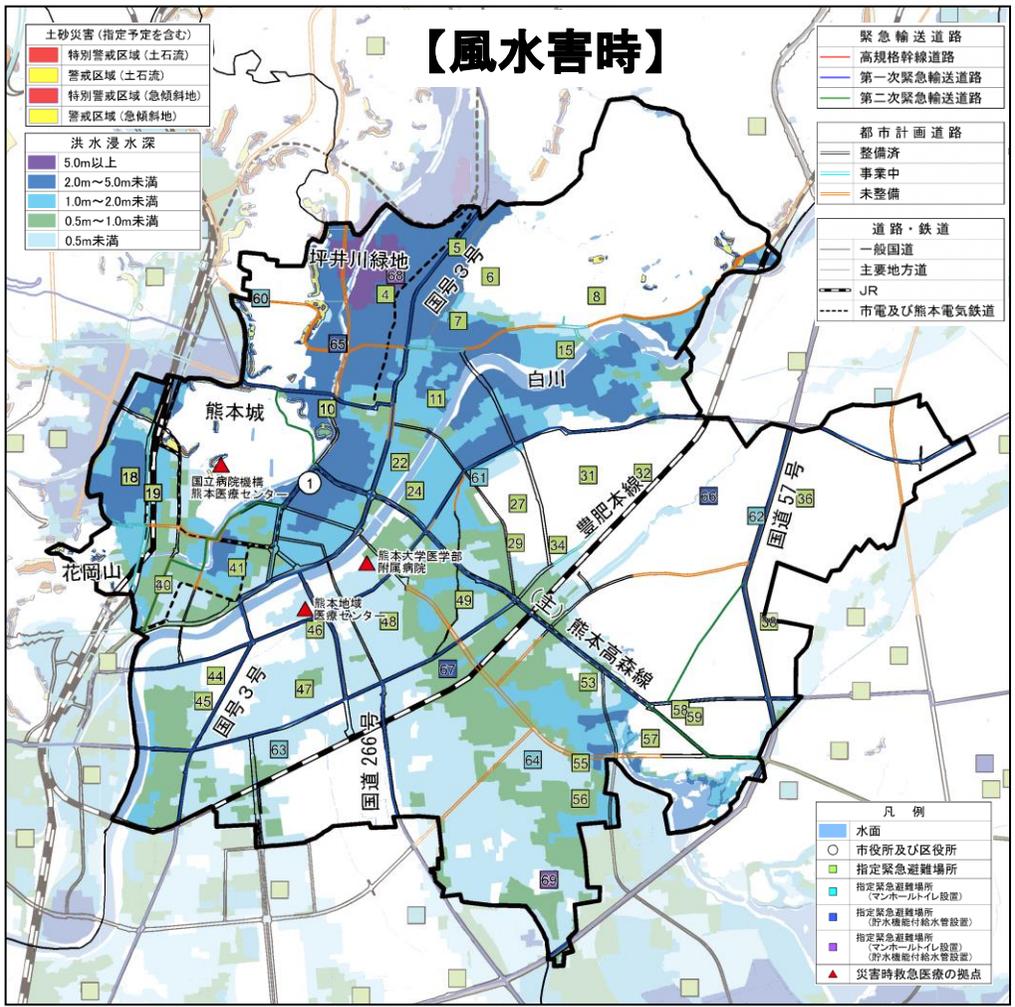
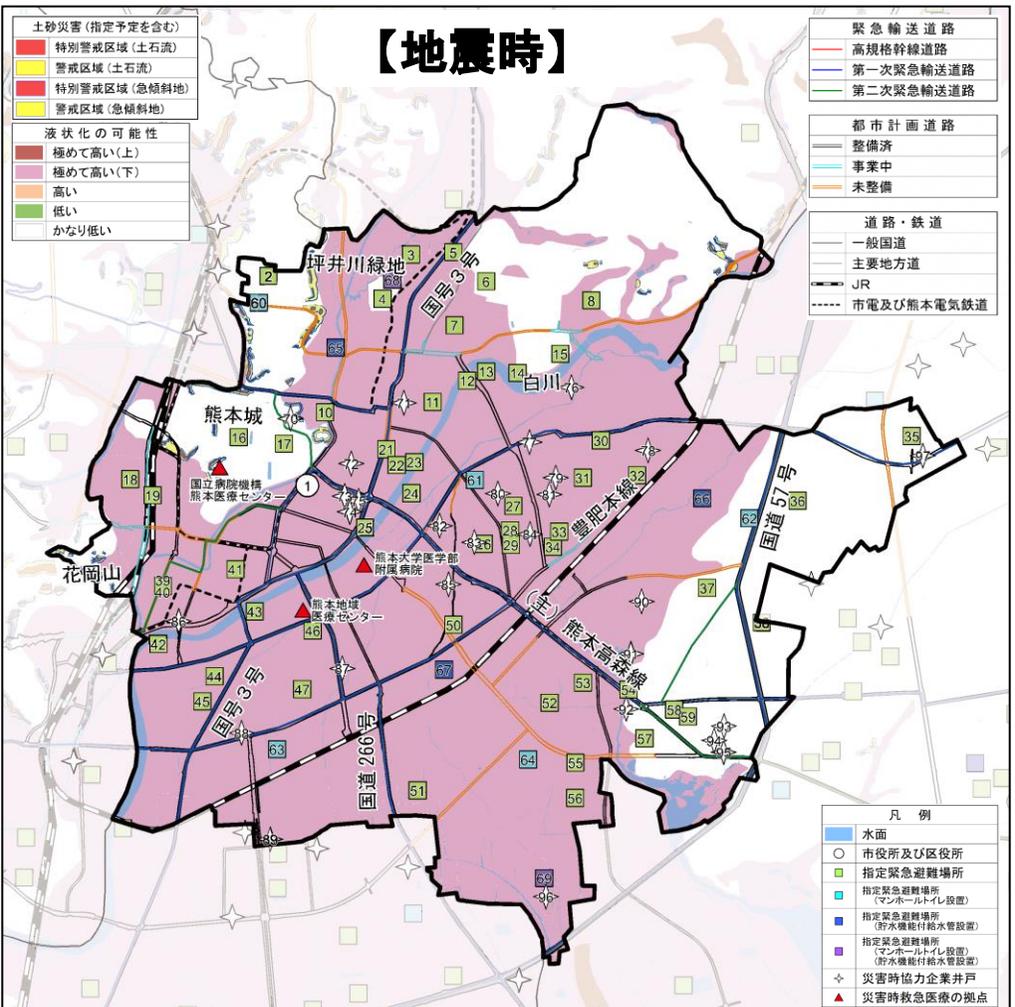
●土地の災害リスク認識する事で、下記のような防災・減災につながる。

- ・緊急避難場所の確認
- ・避難ルートの確認
- ・井戸設置箇所の確認
- ・災害リスクを踏まえた居住地の選択 など

③ 熊本市都市マスタープランの見直し「地域別構想」(案)

災害リスクと対策基盤(中央区の場合)

地震時 : 中央区の多くが液状化の可能性が極めて高いエリアに含まれます。
風水害時 : 河川氾濫時は、中央区役所周辺の浸水深さが2.0m~5.0mとなると想定。

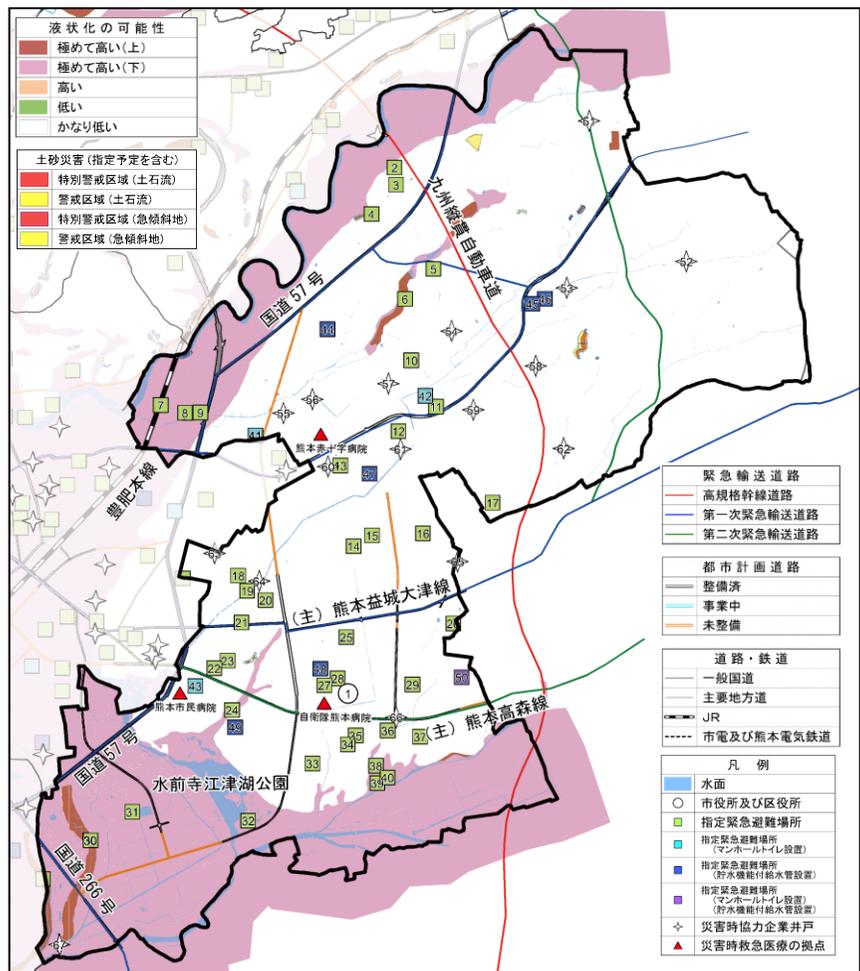


③ 熊本市都市マスタープランの見直し「地域別構想」(案)

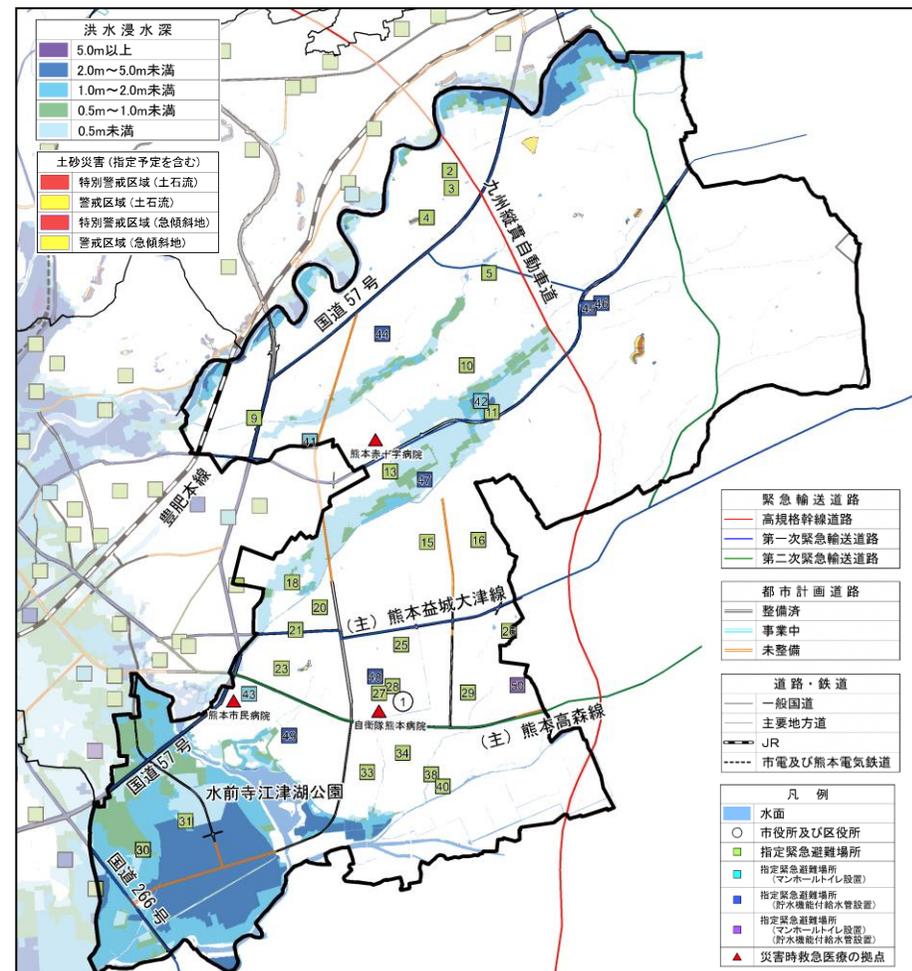
災害リスクと対策基盤(東区の場合)

地震時 : 白川周辺等の地域について、液状化の可能性が極めて高くなっています。
 風水害時 : 白川や加勢川、健軍川の周辺等は、河川氾濫時に浸水する危険性があります。

【地震時】



【風水害時】

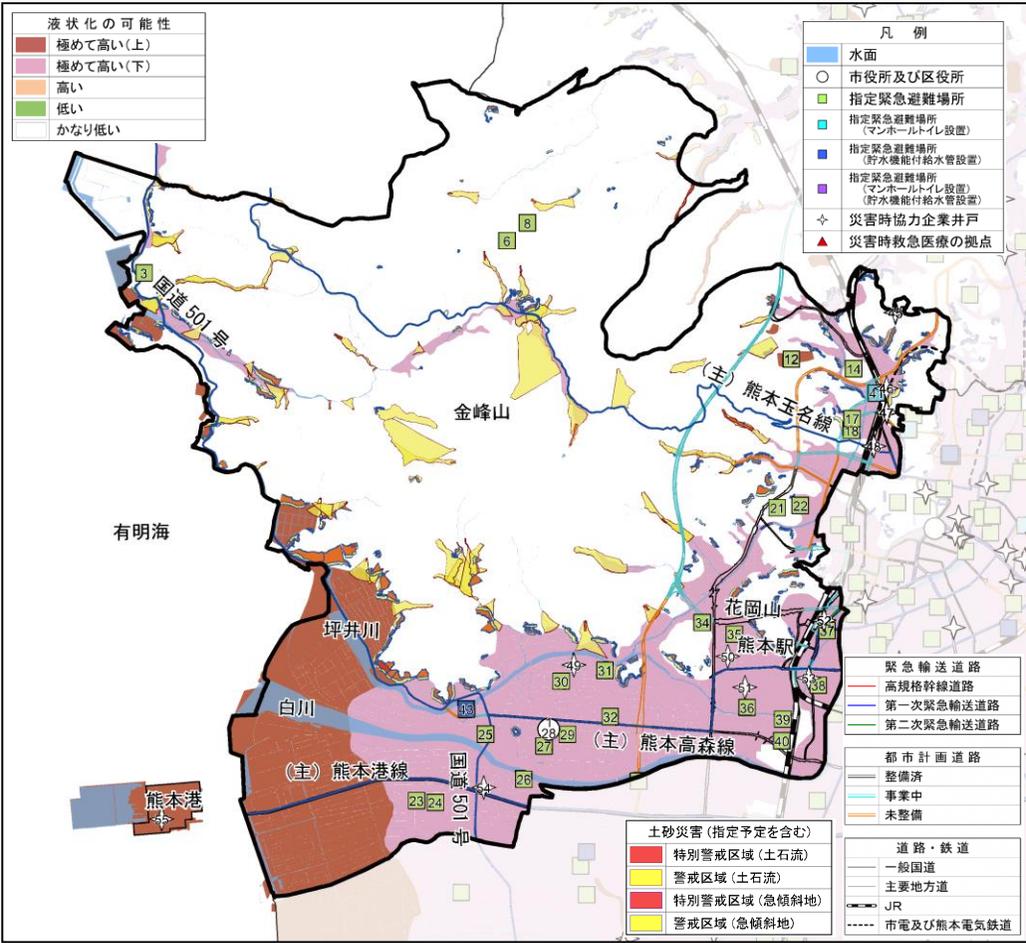


③ 熊本市都市マスタープランの見直し「地域別構想」(案)

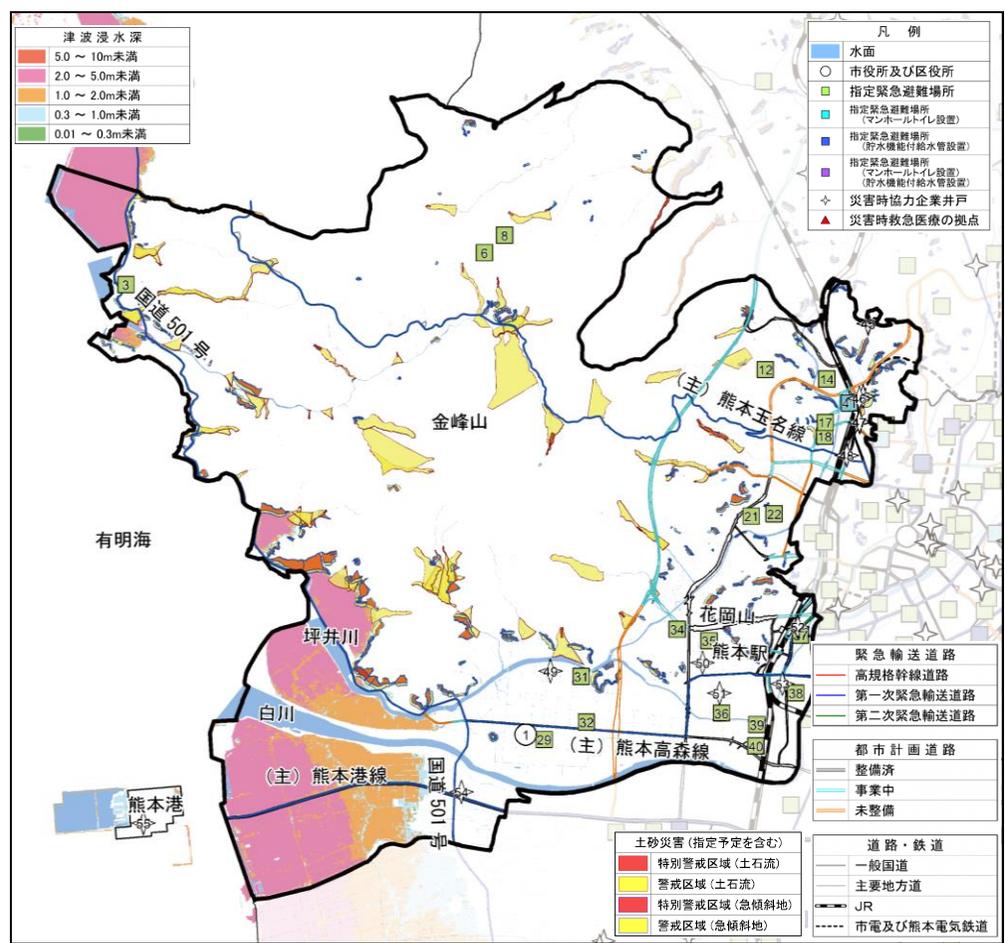
災害リスクと対策基盤(西区の場合)

地震時：有明海沿岸の地域について液状化リスクが高くなっています。
 津波時：海岸部においては、津波による浸水の危険性があります。

【地震時】



【津波時】

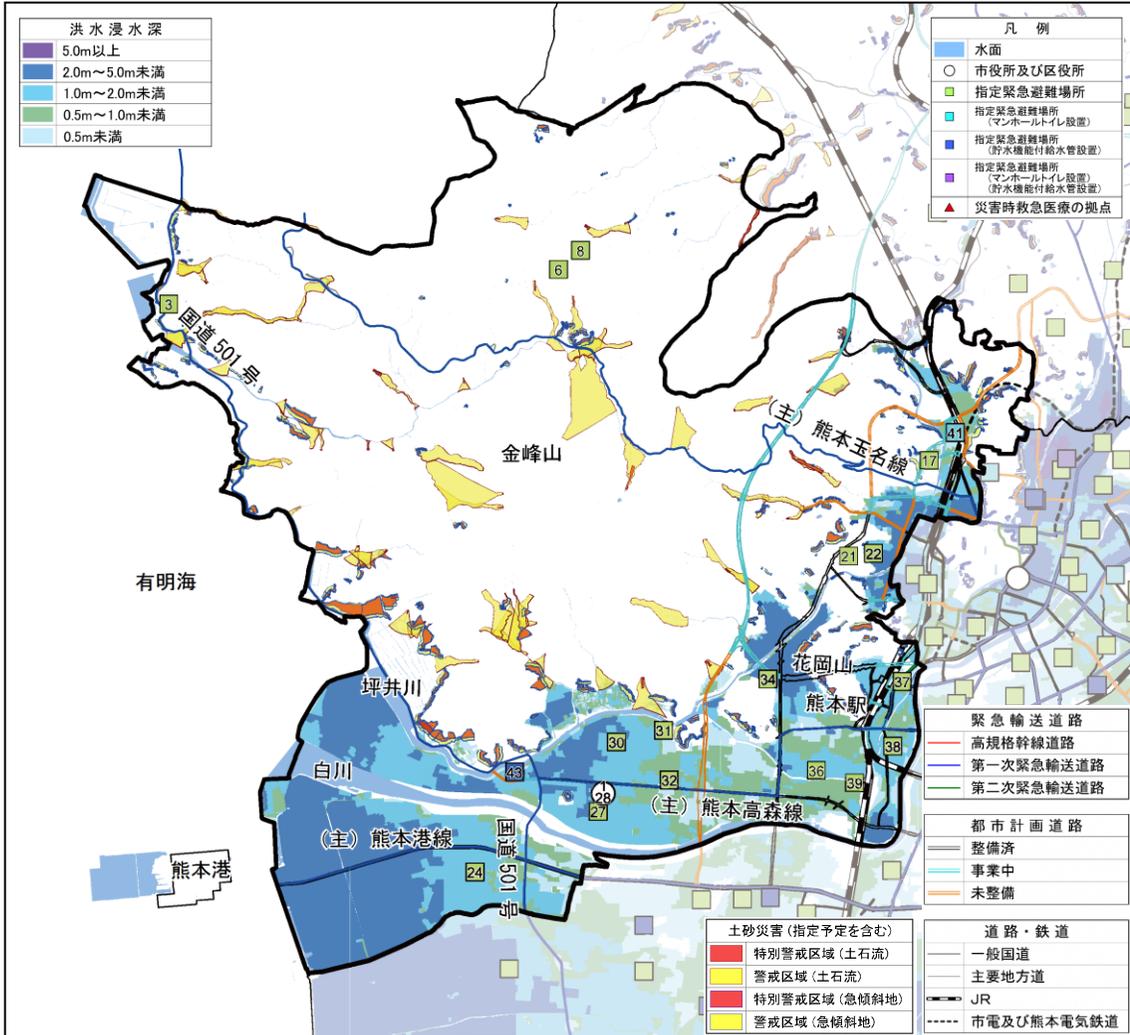


③ 熊本市都市マスタープランの見直し「地域別構想」(案)

災害リスクと対策基盤(西区の場合)

風水害時：白川や坪井川、井芹川の周辺等は、河川氾濫時に浸水する危険性があります。

【風水害時】

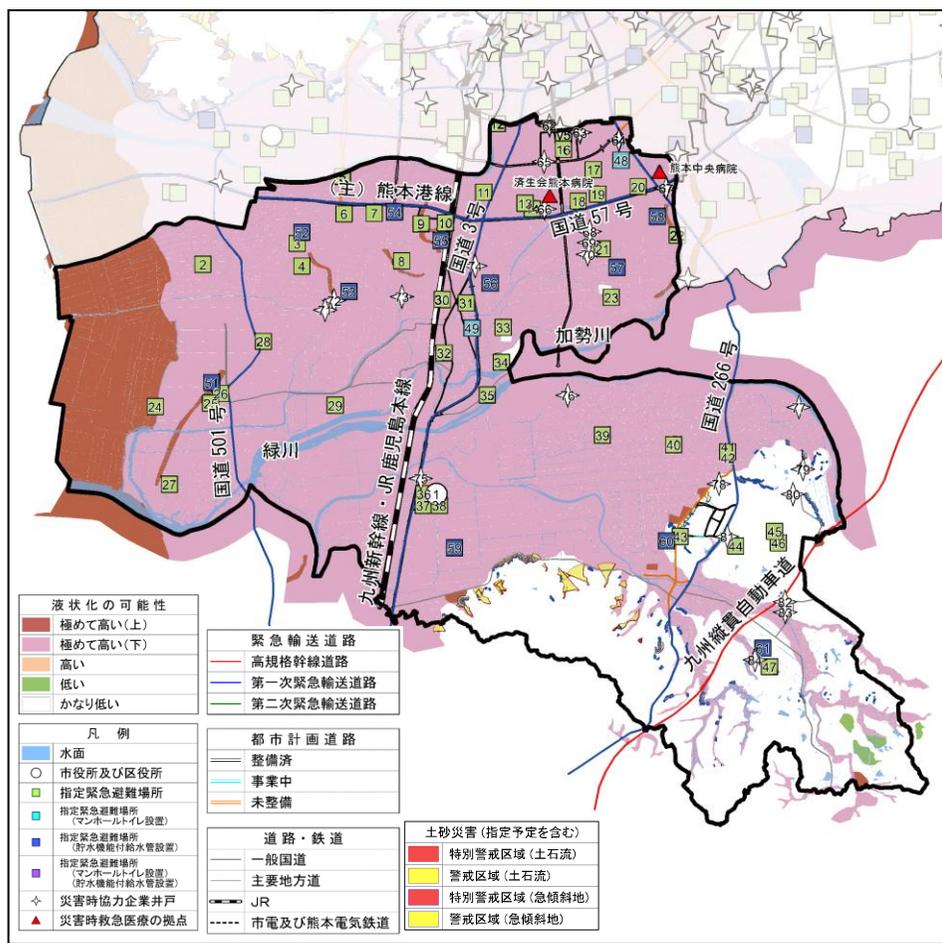


③ 熊本市都市マスタープランの見直し「地域別構想」(案)

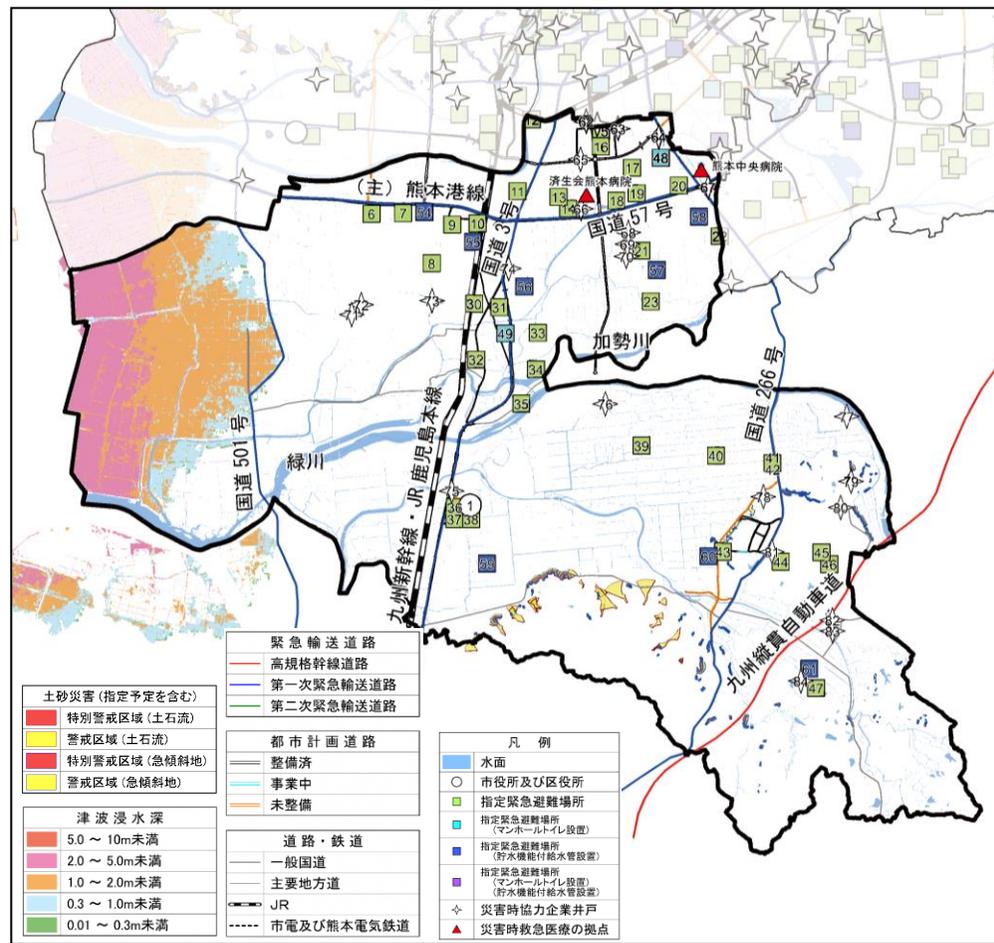
災害リスクと対策基盤(南区の場合)

地震時：有明海沿岸の地域について液状化リスクが高くなっています。
 津波時：海岸部においては、津波による浸水の危険性があります。

【地震時】



【津波時】

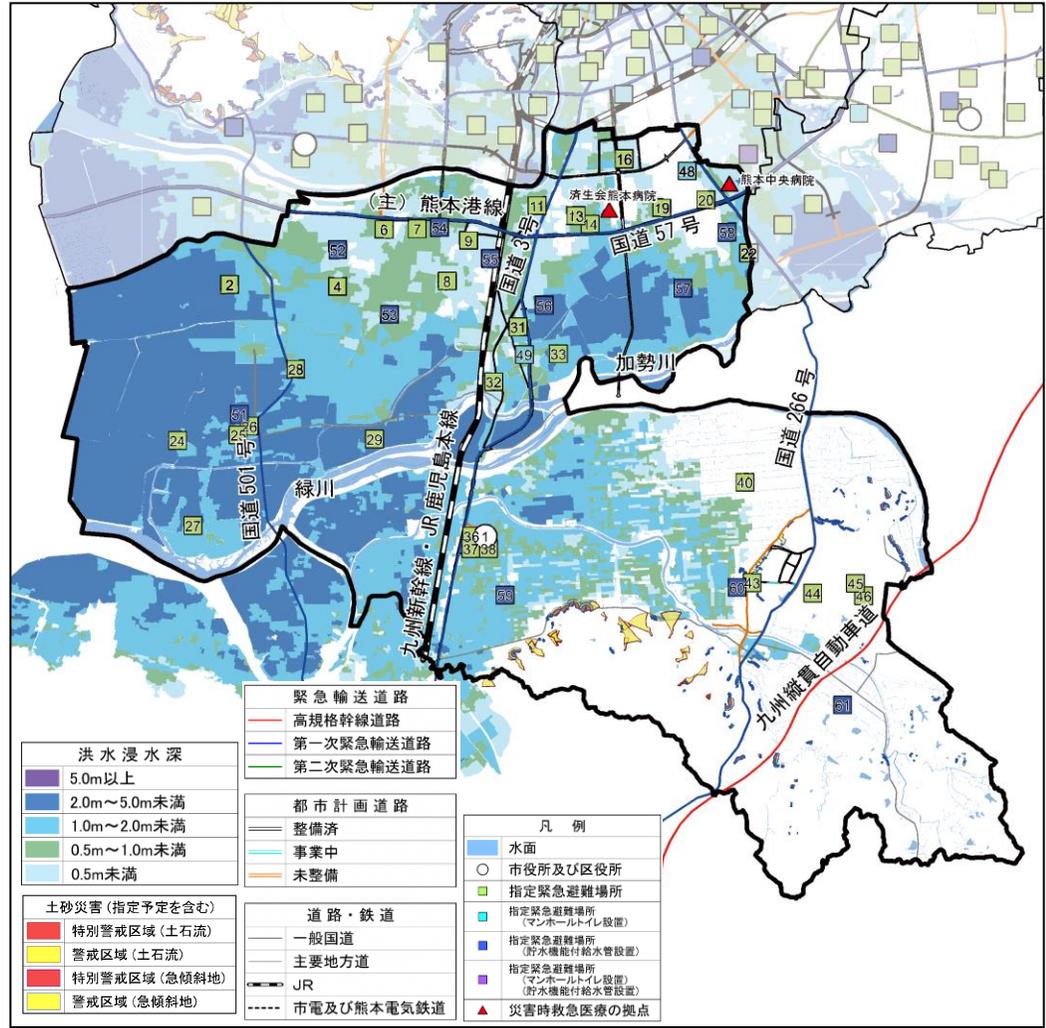


③ 熊本市都市マスタープランの見直し「地域別構想」(案)

災害リスクと対策基盤(南区の場合)

風水害時：緑川、加勢川、天明新川周辺等は、河川氾濫時に浸水する危険性があります。

【風水害時】

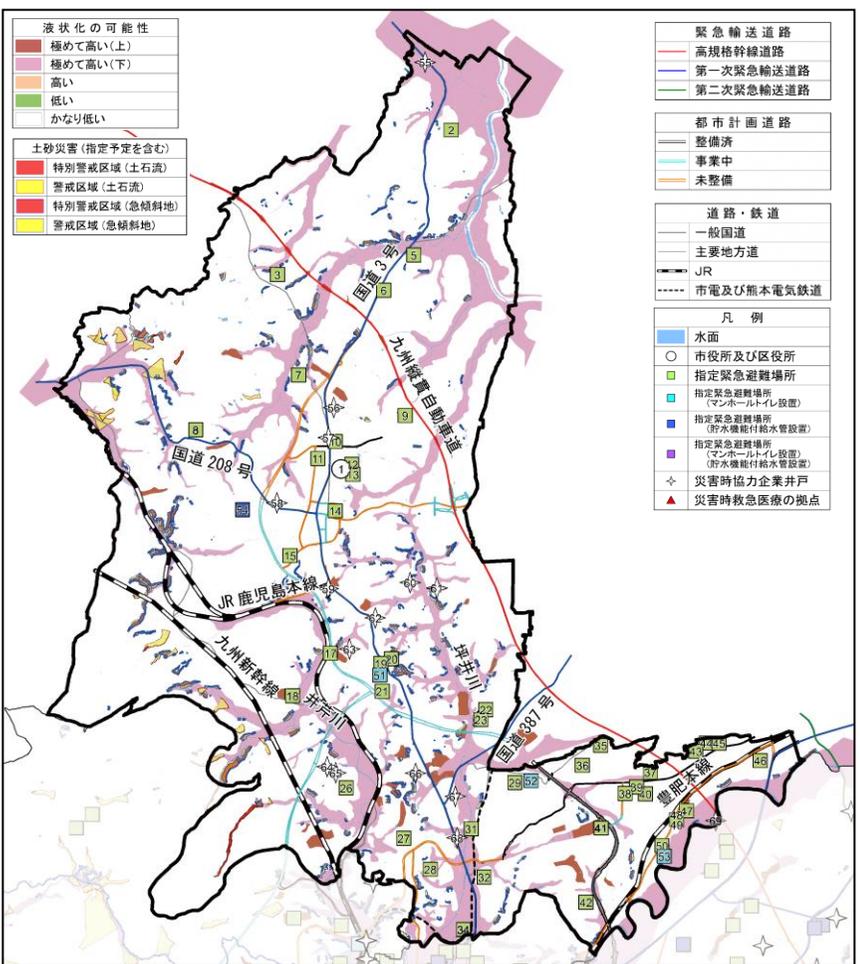


③ 熊本市都市マスタープランの見直し「地域別構想」(案)

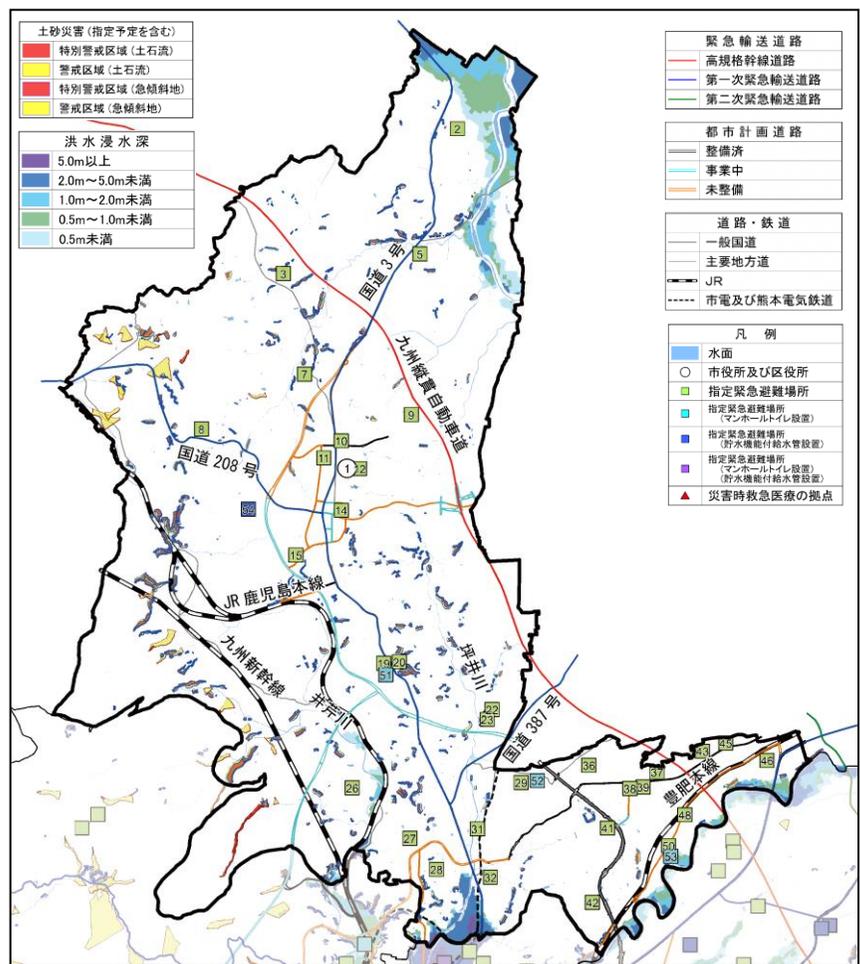
災害リスクと対策基盤(北区の場合)

地震時：河川沿い等について、液状化の可能性が高い地域が点在しています。
 風水害時：白川や合志川の周辺等は、河川氾濫時に浸水する危険性があります。

【地震時】



【風水害時】



③ 熊本市都市マスタープランの見直し「地域別構想」(案)

都市防災

○全体構想で見直した「都市防災の方針」を踏まえ、各区の取り組みや施策等を整理し地域別構想に反映。

全体構想 都市防災の方針

(1) 災害に強い都市基盤の形成
【都市施設の防災・減災対策】
【建築物・宅地の防災・減災対策】
【災害リスクの提供と活用】
(2) 災害時でも機能する拠点の整備
【中心市街地・地域拠点】
【中心市街地】
【災害対応に必要な拠点】
(3) 市民・地域・行政の災害対応力
【市民の災害対応力の強化】
【地域の災害対応力の強化】
【行政の災害対応力の強化】

反映



③ 熊本市都市マスタープランの見直し「地域別構想」(案)

都市防災(中央区)

(1)災害に強い都市基盤の形成

○【都市施設の防災・減災対策】【建築物・宅地の防災・減災対策】について、具体的な施策の体系を記載。

(1)災害に強い都市基盤の形成

【都市施設の防災・減災対策】

災害時の道路ネットワークを確保するため、上熊本弓削線等の都市計画道路の整備を推進します。都市部では公共空地の確保や緊急輸送路の維持管理に努め、都市災害対策を図ります。

上熊本弓削線などの都市計画道路等の無電柱化を推進します。

中心市街地は、昼間人口も多いことから、重点的に建築物やライフラインの耐震化を推進し、災害時における拠点としての機能確保に努めます。

オープンスペースは、不特定多数の人が集まる中心市街地において、災害時の避難場所として有効であることから、シンボルプロムナード等を整備し、その確保に努めます。また、民間のオープンスペースについては、災害時に市民が利用できるよう、官民連携を図ります。

【建築物・宅地の防災・減災対策】

中心市街地や子飼地区等の地域拠点や緊急輸送道路沿道の建築物及び病院、店舗等の不特定多数の者が利用する建築物等について重点的に耐震化を促進します。

個人住宅の耐震診断及び耐震改修を促進するとともに、耐震診断士等の育成に努めます。

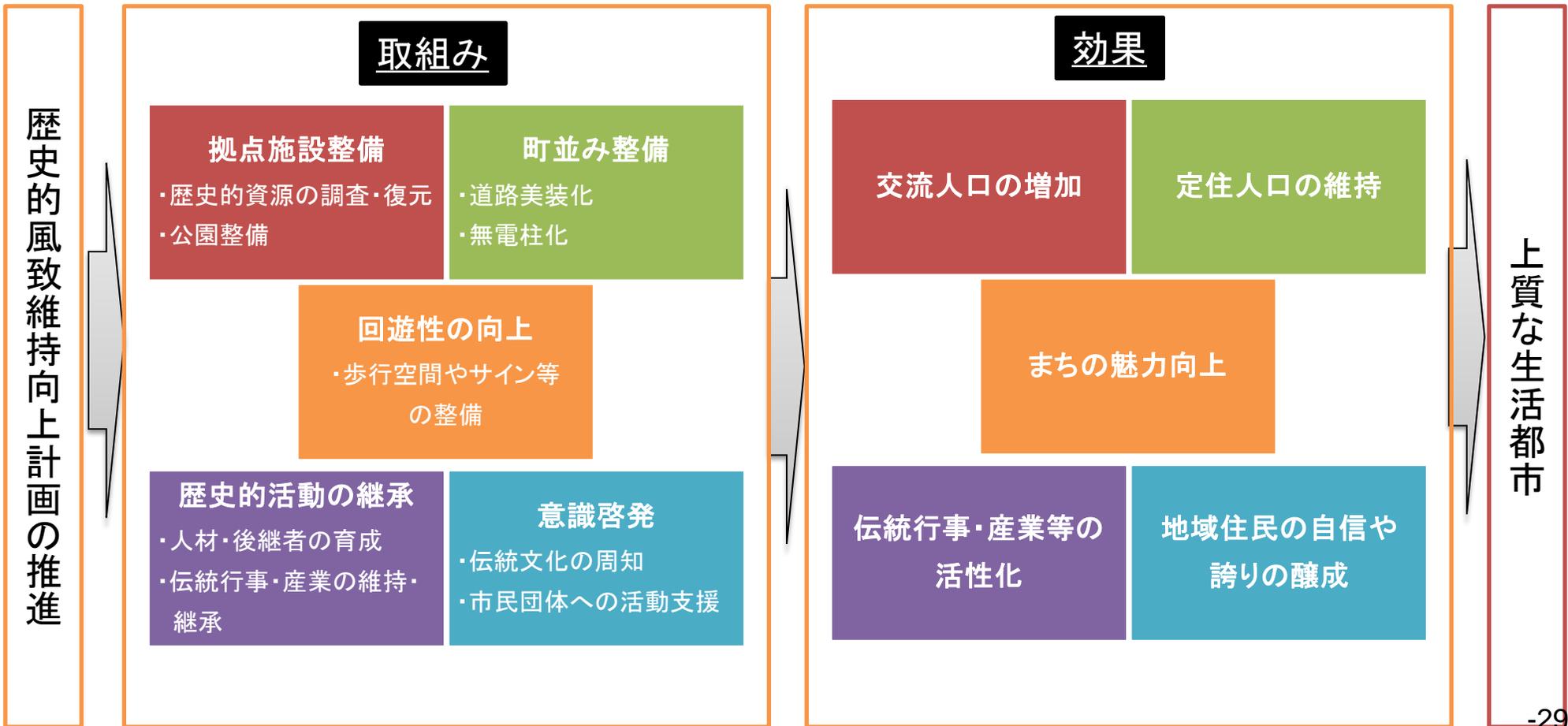
景観重要・形成建造物の歴史的建造物が被災した新町・古町地区について、「歴史的風致維持向上計画」の策定する中で、熊本地震の教訓を踏まえた防災対策を図るとともに、城下町の町並みの早期復旧に向けた支援を行います。

③ 熊本市都市マスタープランの見直し「地域別構想」(案)

建築物・宅地の防災・減災対策

○景観重要・形成建造物の歴史的建造物が被災した新町・古町地区について、「**歴史的風致維持向上計画**」の策定に取り組み、熊本地震の教訓を踏まえた防災対策を図るとともに、**城下町の町並みの早期復旧に向けた支援**を行います。

～歴史的風致維持向上計画～



③ 熊本市都市マスタープランの見直し「地域別構想」(案)

都市防災(東区)

(1)災害に強い都市基盤の形成

- 【都市施設の防災・減災対策】【建築物・宅地の防災・減災対策】について、具体的な施策の体系を記載。

(1)災害に強い都市基盤の形成

【都市施設の防災・減災対策】

災害時の道路ネットワークを確保するため、下南部画図線等の都市計画道路の整備を推進します。

バス路線網の再編を進め、健軍電停から自衛隊方面への市電延伸を検討することで、移動手段の多重化を図りながら、公共交通の災害対応力の向上も目指します。

託麻三山の麓にある集落や住宅地においては、急傾斜地での土砂災害に対する防災対策を促進します。

【建築物・宅地の防災・減災対策】

健軍地区等の地域拠点や緊急輸送道路沿道の建築物及び病院、店舗等の不特定多数の者が利用する建築物等について重点的に耐震化を促進します。

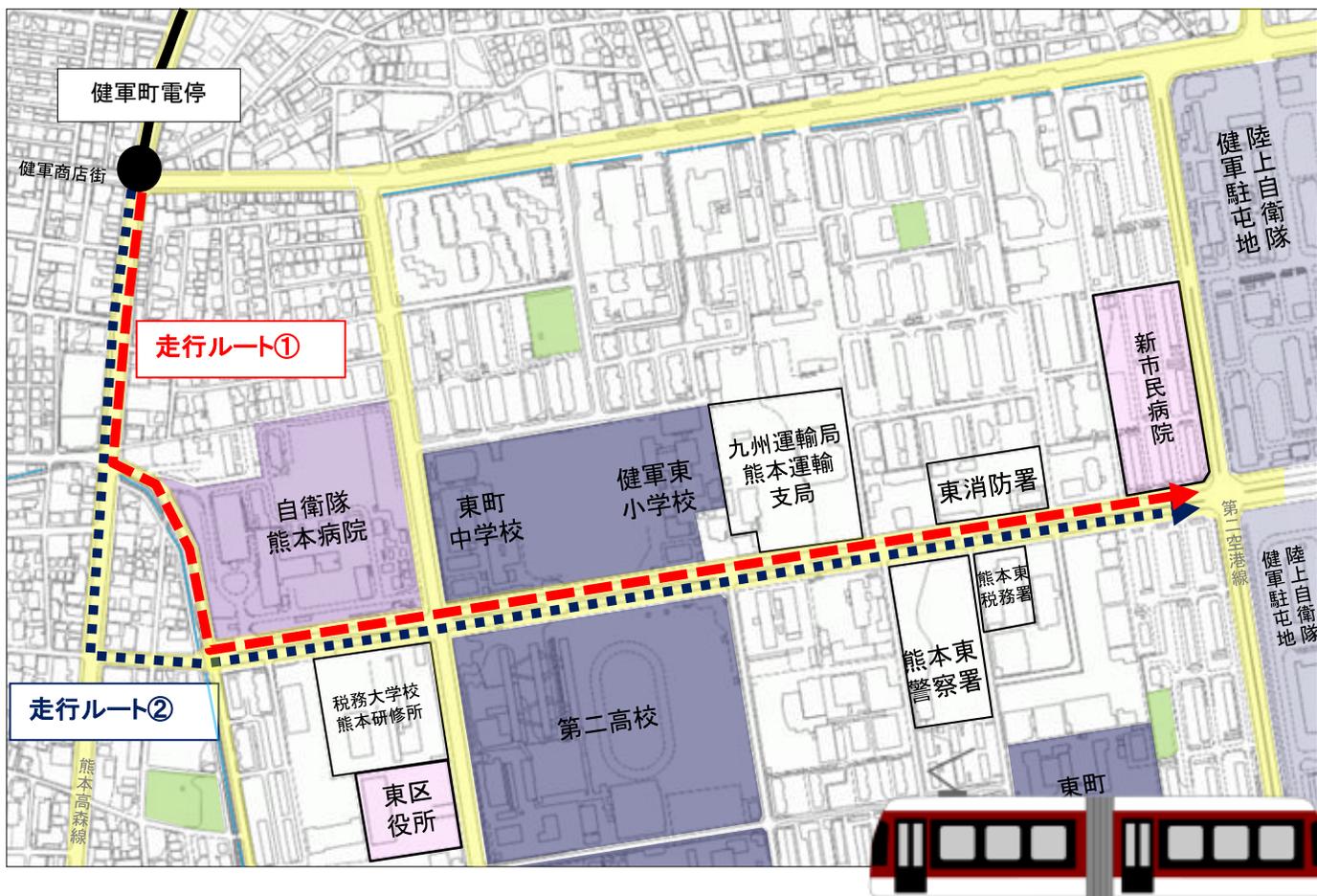
個人住宅の耐震診断及び耐震改修を促進するとともに、耐震診断士等の育成に努めます。

③ 熊本市都市マスタープランの見直し 「地域別構想」(案)

都市施設の防災・減災対策

○バス路線網の再編を進め、**健軍町電停から自衛隊方面への市電延伸を検討**することで、移動手段の多重化を図りながら、公共交通の災害対応力の向上も目指します。

自衛隊ルート の位置図



○市電延伸ルートに期待される効果

- 東区役所など周辺公共施設や整備中の新市民病院へのアクセス向上
- 公共交通のネットワークの強化による利便性向上
- 自家用車から市電への利用転換を促進し、渋滞の緩和や環境負荷の軽減

等

③ 熊本市都市マスタープランの見直し「地域別構想」(案)

都市防災(西区)

(1)災害に強い都市基盤の形成

- 【都市施設の防災・減災対策】【建築物・宅地の防災・減災対策】について、具体的な施策の体系を記載。

(1)災害に強い都市基盤の形成

【都市施設の防災・減災対策】

災害時の道路ネットワークを確保するため、熊本西環状線等の都市計画道路の整備を推進します。

高潮等による浸水時の迂回路や避難路の確保のため、地域高規格道路有明海沿岸道路(Ⅱ期)の計画を促進します。

熊本駅城山線などの都市計画道路等の無電柱化を推進します。

公共交通の主要結節点である熊本駅白川口(東口)駅前広場の整備に合わせ、災害時における帰宅困難者等の一時避難所及び復旧・復興の拠点となる広場空間を確保します。

県と連携し、熊本港の耐震強化岸壁の整備を促進します。

【建築物・宅地の防災・減災対策】

城山地区の地域拠点や緊急輸送道路沿道の建築物及び病院、店舗等の不特定多数の者が利用する建築物等について重点的に耐震化を促進します。

個人住宅の耐震診断及び耐震改修を促進するとともに、耐震診断士等の育成に努めます。

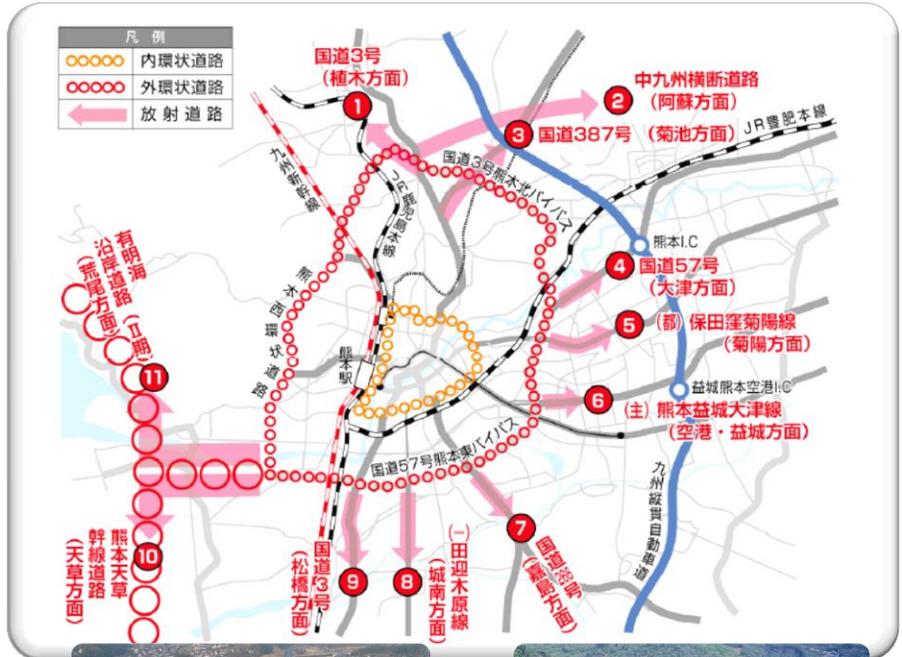
熊本地震により変状等が生じている盛土部などの造成宅地において、滑動崩落対策を推進します。

③ 熊本市都市マスタープランの見直し「地域別構想」(案)

都市施設の防災・減災対策

○災害時の道路ネットワークを確保するため、**熊本西環状線等の都市計画道路の整備を推進**します。

2環状11放射道路網



熊本西環状道路(花園工区) 開通



熊本西環状道路(池上工区)
 ~池上IC付近完成イメージ~

主要骨格幹線道路



③ 熊本市都市マスタープランの見直し「地域別構想」(案)

都市防災(南区)

(1)災害に強い都市基盤の形成

- 【都市施設の防災・減災対策】【建築物・宅地の防災・減災対策】について、具体的な施策の体系を記載。

(1)災害に強い都市基盤の形成

【都市施設の防災・減災対策】

災害時の道路ネットワークを確保するため、飽田バイパス等の幹線道路の早期整備を図ります。

国道266号などの幹線道路の無電柱化を推進します。

雁回山周辺等の急傾斜地では土砂災害の対策を促進します。

【建築物・宅地の防災・減災対策】

刈草地区等の地域拠点や緊急輸送道路沿道の建築物及び病院、店舗等の不特定多数の者が利用する建築物等について重点的に耐震化を促進します。

熊本地震により液状化等が発生している近見地区等においては、宅地液状化防止事業を推進します。

個人住宅の耐震診断及び耐震改修を促進するとともに、耐震診断士等の育成に努めます。

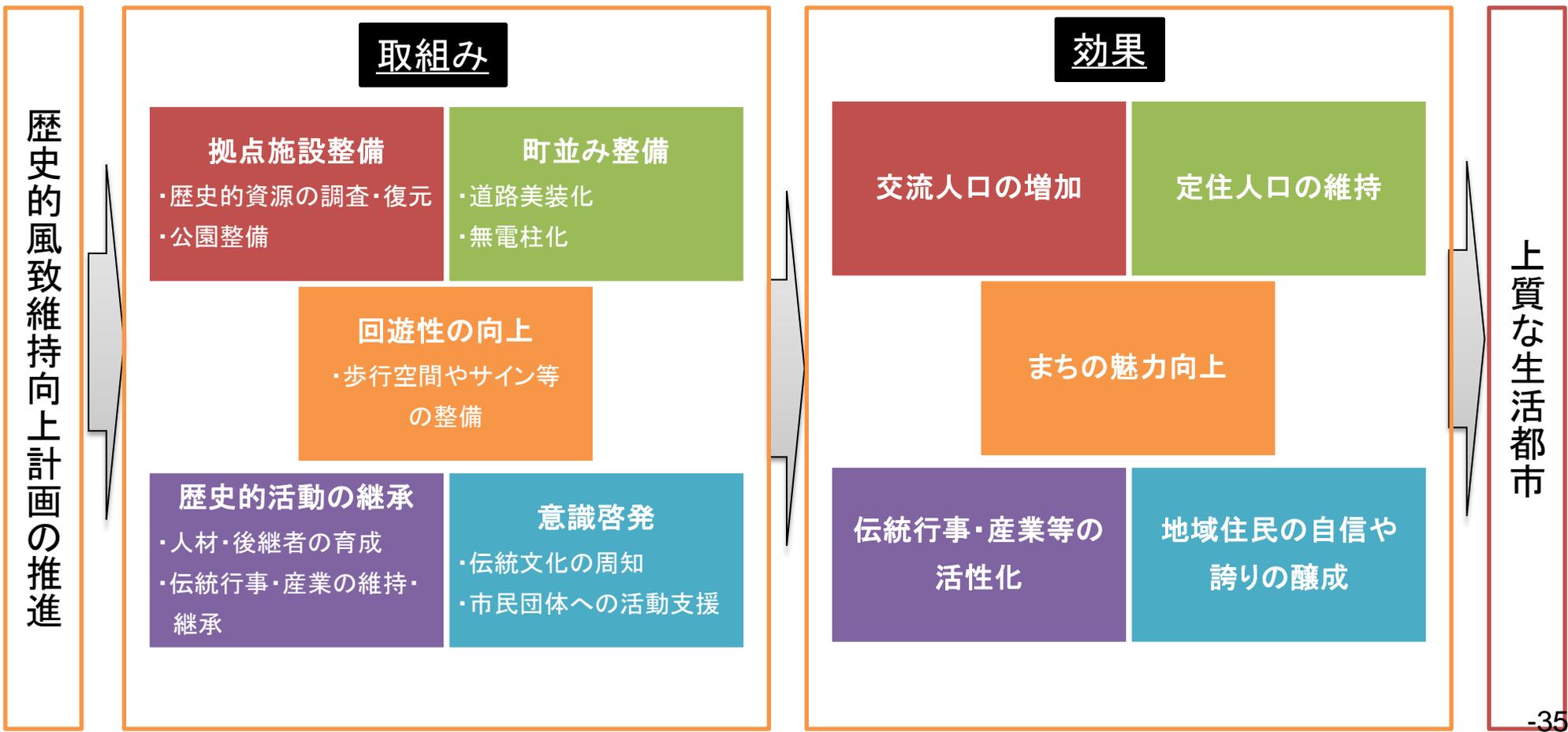
景観重要・形成建造物の歴史的建造物が被災した川尻地区について、「歴史的風致維持向上計画」の策定する中で、熊本地震の教訓を踏まえた防災対策を図るとともに、地域の特色ある町並みの早期復旧に向けた支援を行います。

③ 熊本市都市マスタープランの見直し「地域別構想」(案)

建築物・宅地の防災・減災対策

○景観重要・形成建造物の歴史的建造物が被災した川尻地区について、「**歴史的風致維持向上計画**」の策定に取り組み、熊本地震の教訓を踏まえた防災対策を図るとともに、**城下町の町並みの早期復旧に向けた支援**を行います。

～歴史的風致維持向上計画～



③ 熊本市都市マスタープランの見直し「地域別構想」(案)

都市防災(北区)

(1)災害に強い都市基盤の形成

- 【都市施設の防災・減災対策】【建築物・宅地の防災・減災対策】について、具体的な施策の体系を記載。

(1)災害に強い都市基盤の形成

【都市施設の防災・減災対策】

災害時の道路ネットワークを確保するため、中九州横断道路や国道3号植木バイパス等の整備を促進します。

田原坂周辺等の急傾斜地における土砂災害や、白川・合志川における河川氾濫に対する防災対策を促進します。

【建築物・宅地の防災・減災対策】

植木地区等の地域拠点や緊急輸送道路沿道の建築物及び病院、店舗等の不特定多数の者が利用する建築物等について重点的に耐震化を促進します。

熊本地震により変状等が生じている盛土部などの造成宅地において、滑動崩落対策を推進します。

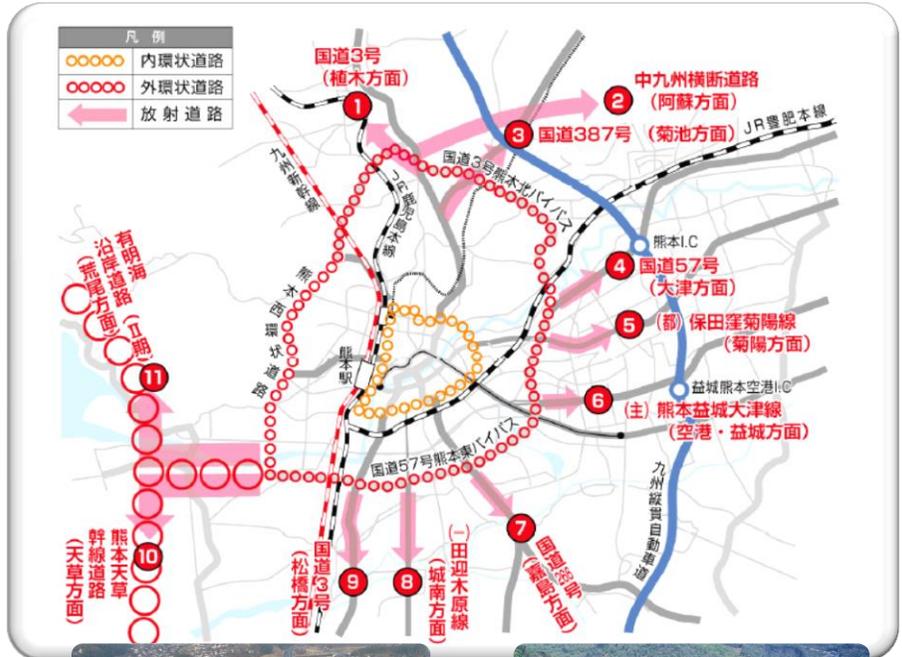
個人住宅の耐震診断及び耐震改修を促進するとともに、耐震診断士等の育成に努めます。

③ 熊本市都市マスタープランの見直し「地域別構想」(案)

都市施設の防災・減災対策

○災害時の道路ネットワークを確保するため、**中九州横断道路**や**国道3号植木バイパス**等の整備を促進します。

2環状11放射道路網



主要骨格幹線道路



熊本西環状道路(花園工区) 開通



熊本西環状道路(池上工区)
～池上IC付近完成イメージ～

③ 熊本市都市マスタープランの見直し「地域別構想」(案)

都市防災(中央区)

(2)災害時でも機能する拠点整備

○【中心市街地】【地域拠点】【災害対応に必要な拠点】の各拠点が災害時に果たすべき役割や今後の取り組みを整理。

(2)災害時でも機能する拠点の整備

【中心市街地・地域拠点】

災害時でも、市民の生活の利便性を確保する拠点として機能するよう、医療・商業施設等の耐震性の向上を図るため、構造躯体の耐震対策、非構造部材(天井、建具等)の損傷、移動対策、陳列棚転倒対策等について行政の支援制度及び民間事業者との災害協定について検討します。

【中心市街地】

様々な機能が立地する中心市街地の中でも、広域交通拠点である桜町・花畑地区については、災害時、多くの市民や災害ボランティア等の移動を支えるためにも、広域交通拠点としての機能を維持するとともに、避難者や帰宅困難者支援の拠点として避難場所や食糧等の備蓄を確保し、さらには、救護活動やボランティア活動などの災害時活動の拠点として機能するよう、官民連携し、エリア全体で防災・減災機能の強化に取り組めます。

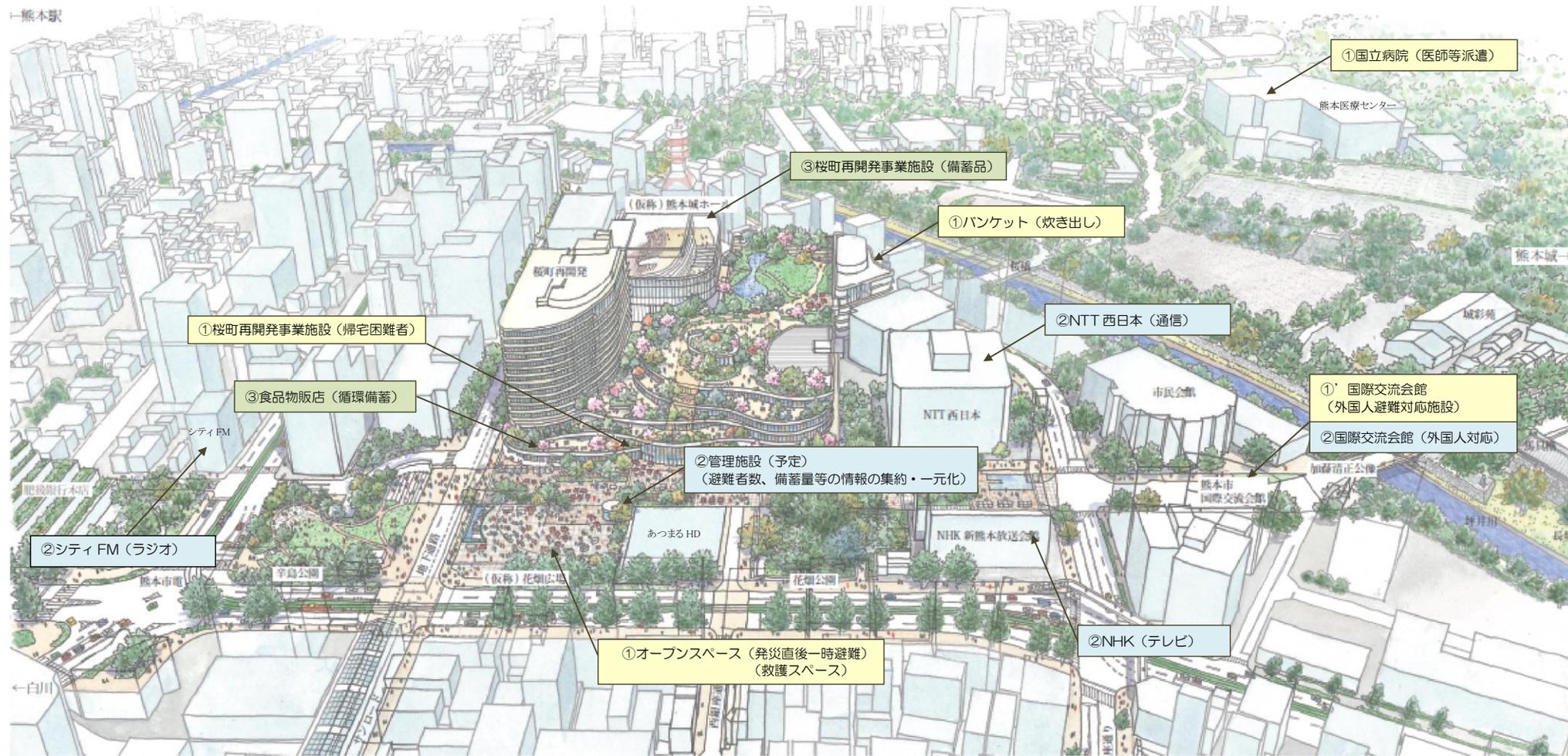
【災害対応に必要な拠点】

国立病院機構熊本医療センターは地域災害拠点病院であり、これらの拠点の災害時活動を支援するために、都市計画道路上熊本弓削線などの道路・交通ネットワークの早期整備を図ります。

③ 熊本市都市マスタープランの見直し「地域別構想」(案)

中心市街地イメージ

○ 桜町・花畑地区災害時でも広域交通拠点としての機能を維持するとともに、避難場所や食糧等の備蓄の確保を行う。さらに災害時活動の拠点として機能するように、官民連携しエリア全体で防災・減災機能の強化に取り組みます。



③ 熊本市都市マスタープランの見直し「地域別構想」(案)

都市防災(東区)

(2)災害時でも機能する拠点整備

- 【中心市街地】【地域拠点】【災害対応に必要な拠点】の各拠点が災害時に果たすべき役割や今後の取り組みを整理。

(2)災害時でも機能する拠点の整備

【地域拠点】

災害時でも、市民の生活の利便性を確保する拠点として機能するよう、医療・商業施設等の耐震性の向上を図るため、構造躯体の耐震対策、非構造部材(天井、建具等)の損傷、移動対策、陳列棚転倒対策等について行政の支援制度及び民間事業者との災害協定について検討します。

【災害対応に必要な拠点】

熊本県民総合運動公園、熊本赤十字病院は、それぞれ広域防災活動拠点、基幹災害拠点病院であり、これらの拠点の災害時活動を支援するために、都市計画道路下南部画図線などの道路・交通ネットワークの早期整備を図ります。

③ 熊本市都市マスタープランの見直し「地域別構想」(案)

都市防災(西区)

(2)災害時でも機能する拠点整備

○【中心市街地】【地域拠点】【災害対応に必要な拠点】の各拠点が災害時に果たすべき役割や今後の取り組みを整理。

(2)災害時でも機能する拠点の整備

【中心市街地・地域拠点】

災害時でも、市民の生活の利便性を確保する拠点として機能するよう、医療・商業施設等の耐震性の向上を図るため、構造躯体の耐震対策、非構造部材(天井、建具等)の損傷、移動対策、陳列棚転倒対策等について行政の支援制度及び民間事業者との災害協定について検討します。

【中心市街地】

様々な機能が立地する中心市街地の中でも、広域交通拠点である熊本駅周辺地区については、災害時、多くの市民や災害ボランティア等の移動を支えるためにも、広域交通拠点としての機能を維持するとともに、避難者や帰宅困難者支援の拠点として避難場所や食糧等の備蓄を確保し、さらには、救護活動やボランティア活動などの災害時活動の拠点として機能するよう、官民連携し、エリア全体で防災・減災機能の強化に取り組めます。

【災害対応に必要な拠点】

熊本港は、熊本地震において、支援物資等の輸送の拠点として機能を果たし、また、県の地域防災計画においても、熊本港の耐震強化岸壁の優先的な整備も掲げられていることから、県と連携し、耐震強化岸壁の整備の促進を図るとともに、これらの拠点の災害時活動を支援するために、都市計画道路熊本西環状線などの道路・交通ネットワークの早期整備を図ります。

③ 熊本市都市マスタープランの見直し「地域別構想」(案)

中心市街地イメージ

○ 熊本駅周辺地区は災害時でも広域交通拠点としての機能を維持するとともに、避難場所や食糧等の備蓄の確保を行う。さらに災害時活動の拠点として機能するように、官民連携しエリア全体で防災・減災機能の強化に取り組みます。

構想イメージ案

【地震時】



①防災・減災、災害対応について学習・訓練する場
 ◆官民連携した防災訓練等
 ・春日小学校
 ・熊本駅白川口駅前広場

②避難場所としての機能【地震：屋外スペース】
 ◆発災直後の一時避難場所
 ◆避難場所の運営や活動拠点用に電力を提供
 ◆生活用水（飲料水、トイレ等）の提供
 ※駅前広場内設備の活用や周辺施設からの提供に向けて調整
 ・熊本駅白川口駅前広場
 ・交流広場
 ・街区公園
 ・ポケットパーク

⑤情報集積・発信機能
 ◆災害情報、交通情報、通信設備等の提供
 ※周辺施設と調整
 ・熊本駅白川口駅前広場

⑥ボランティア集結・輸送・活動拠点機能
 ◆オープンスペースを活用したボランティアセンターの設置
 ・熊本駅白川口駅前広場

③食糧、物資等の備蓄機能
 ◆飲食料品、毛布、生活用品の備蓄・提供
 ※周辺施設と調整
 ・森都心プラザ
 ・(仮称)熊本駅ビル
 ・(仮称)JR九州ホテル
 ・ホテルニューオータニ熊本
 ・東横イン

⑦避難所機能
 ◆長期的な避難所
 ・森都心プラザ
 ・春日小学校
 ・合同庁舎
 ・春日コミセン

③ 熊本市都市マスタープランの見直し「地域別構想」(案)

都市防災(南区)

(2)災害時でも機能する拠点整備

- 【中心市街地】【地域拠点】【災害対応に必要な拠点】の各拠点が災害時に果たすべき役割や今後の取り組みを整理。

(2)災害時でも機能する拠点の整備

【地域拠点】

災害時でも、市民の生活の利便性を確保する拠点として機能するよう、医療・商業施設等の耐震性の向上を図るため、構造躯体の耐震対策、非構造部材(天井、建具等)の損傷、移動対策、陳列棚転倒対策等について行政の支援制度及び民間事業者との災害協定について検討します。

【災害対応に必要な拠点】

済生会熊本病院は地域災害拠点病院であり、これらの拠点の災害時活動を支援するために、地域高規格道路熊本天草幹線道路などの道路・交通ネットワークの早期整備を促進します。

③ 熊本市都市マスタープランの見直し「地域別構想」(案)

都市防災(北区)

(2)災害時でも機能する拠点整備

○【中心市街地】【地域拠点】【災害対応に必要な拠点】の各拠点が災害時に果たすべき役割や今後の取り組みを整理。

(2)災害時でも機能する拠点の整備

【地域拠点】

災害時でも、市民の生活の利便性を確保する拠点として機能するよう、医療・商業施設等の耐震性の向上を図るため、構造躯体の耐震対策、非構造部材(天井、建具等)の損傷、移動対策、陳列棚転倒対策等について行政の支援制度及び民間事業者との災害協定について検討します。

【災害対応に必要な拠点】

植木病院の隣接地に整備中の植木中央公園は、災害時の避難場所及び避難地としての利用を検討します。また、隣接する北区役所や植木病院と一体的に機能するよう、官民連携を図ります。

③ 熊本市都市マスタープランの見直し 「地域別構想」(案)

災害時に必要な拠点

○植木病院の隣接地に整備中の植木中央公園は、災害時の避難場所及び避難地としての利用を検討します。また、隣接する北区役所や植木病院と一体的に機能するように、官民連携を図ります。

構想イメージ案



③ 熊本市都市マスタープランの見直し「地域別構想」(案)

都市防災(中央区)

(3)市民・地域・行政の災害対応力の強化

○市民・地域・行政が担うべき役割等を整理し、「自助・共助・公助」に関する効果的な取組みを記載。

(3)市民・地域・行政の災害対応力の強化

【市民の災害対応力の強化】

ハザードマップ等の活用により、土砂災害特別警戒区域や、液状化の可能性が高いエリア、白川等の河川氾濫時の浸水エリア等の災害リスク及び避難経路、避難所、井戸設置箇所等の確認を促します。

地域の防災リーダーとなる人材を育成するために、防災士資格を取得するための講座を開催し、防災士が活躍できる環境を整えます。

発災後の3日間程度を自らでしのげる食料・水等の備蓄などの呼びかけのほか、電気等のエネルギーの自給を促進します。

【地域の災害対応力の強化】

自主防災クラブの結成促進と地域版ハザードマップ作成の推進により地域防災力の向上を図ります。

地域が主体となって防災力強化に取り組めるよう、防災士資格取得支援制度の案内や防災体験型のキャンプ等を実施するなど、行政のサポート体制の充実について検討します。

【行政の災害対応力の強化】

熊本城一帯や大学、白川河川敷など都市部のオープンスペースを広域避難場所として、また桜町再開発事業施設を指定緊急避難場所として確保します。

発災時に即時的で的確な情報提供等を行うために、SNSなどを活用し、市民・地域・行政の普段からの情報共有体制の構築について検討します。

③ 熊本市都市マスタープランの見直し「地域別構想」(案)

都市防災(東区)

(3)市民・地域・行政の災害対応力の強化

○市民・地域・行政が担うべき役割等を整理し、「自助・共助・公助」に関する効果的な取組みを記載。

(3)市民・地域・行政の災害対応力の強化

【市民の災害対応力の強化】

ハザードマップ等の活用により、託麻三山周辺等の土砂災害特別警戒区域や、白川周辺の液状化の可能性が高いエリア、白川等の河川氾濫時の浸水エリアなどの災害リスク及び避難経路、避難所、井戸設置箇所等の確認を促します。

地域の防災リーダーとなる人材を育成するために、防災士資格を取得するための講座を開催し、防災士が活躍できる環境を整えます。

発災後の3日間程度を自らでしのげる食料・水等の備蓄などの呼びかけのほか、電気等のエネルギーの自給を促進します。

【地域の災害対応力の強化】

自主防災クラブの結成促進と地域版ハザードマップ作成の推進により地域防災力の向上を図ります。

地域が主体となって防災力強化に取り組めるよう、防災士資格取得支援制度の案内や防災体験型のキャンプ等を実施するなど、行政のサポート体制の充実について検討します。

【行政の災害対応力の強化】

発災時に即時的で的確な情報提供等を行うために、SNSなどを活用し、市民・地域・行政の普段からの情報共有体制の構築について検討します。

③ 熊本市都市マスタープランの見直し「地域別構想」(案)

都市防災(西区)

(3)市民・地域・行政の災害対応力の強化

○市民・地域・行政が担うべき役割等を整理し、「自助・共助・公助」に関する効果的な取組みを記載。

(3)市民・地域・行政の災害対応力の強化

【市民の災害対応力の強化】

ハザードマップ等の活用により、金峰山周辺等の土砂災害特別警戒区域や、液状化の可能性が高いエリア、海岸部の津波や坪井川等の河川氾濫時の浸水エリア等の災害リスク及び避難経路、避難所、井戸設置箇所等の確認を促します。

地域の防災リーダーとなる人材を育成するために、防災士資格を取得するための講座を開催し、防災士が活躍できる環境を整えます。

発災後の3日間程度を自らでしのげる食料・水等の備蓄などの呼びかけのほか、電気等のエネルギーの自給を促進します。

【地域の災害対応力の強化】

自主防災クラブの結成促進と地域版ハザードマップ作成の推進により地域防災力の向上を図ります。

地域が主体となって防災力強化に取り組めるよう、防災士資格取得支援制度の案内や防災体験型のキャンプ等を実施するなど、行政のサポート体制の充実について検討します。

【行政の災害対応力の強化】

発災時に即時的で的確な情報提供等を行うために、SNSなどを活用し、市民・地域・行政の普段からの情報共有体制の構築について検討します。

③ 熊本市都市マスタープランの見直し「地域別構想」(案)

都市防災(南区)

(3)市民・地域・行政の災害対応力の強化

○市民・地域・行政が担うべき役割等を整理し、「自助・共助・公助」に関する効果的な取組みを記載。

(3)市民・地域・行政の災害対応力の強化

【市民の災害対応力の強化】

ハザードマップ等の活用により、雁回山周辺等の土砂災害特別警戒区域や、液状化の可能性が高いエリア、海岸部の津波や緑川等の河川氾濫時の浸水エリアなどの災害リスク及び避難経路、避難所、井戸設置箇所等の確認を促します。

地域の防災リーダーとなる人材を育成するために、防災士資格を取得するための講座を開催し、防災士が活躍できる環境を整えます。

発災後の3日間程度を自らでしのげる食料・水等の備蓄などの呼びかけのほか、電気等のエネルギーの自給を促進します。

【地域の災害対応力の強化】

自主防災クラブの結成促進と地域版ハザードマップ作成の推進により地域防災力の向上を図ります。

地域が主体となって防災力強化に取り組めるよう、防災士資格取得支援制度の案内や防災体験型のキャンプ等を実施するなど、行政のサポート体制の充実について検討します。

【行政の災害対応力の強化】

発災時に即時的で的確な情報提供等を行うために、SNSなどを活用し、市民・地域・行政の普段からの情報共有体制の構築について検討します。

③ 熊本市都市マスタープランの見直し「地域別構想」(案)

都市防災(北区)

(3)市民・地域・行政の災害対応力の強化

○市民・地域・行政が担うべき役割等を整理し、「自助・共助・公助」に関する効果的な取組みを記載。

(3)市民・地域・行政の災害対応力の強化

【市民の災害対応力の強化】

ハザードマップ等の活用により、岩野山周辺等の土砂災害特別警戒区域や、液状化の可能性が高いエリア、白川等の河川氾濫時の浸水エリアなどの災害リスク及び避難経路、避難所、井戸設置箇所等の確認を促します。

地域の防災リーダーとなる人材を育成するために、防災士資格を取得するための講座を開催し、防災士が活躍できる環境を整えます。

発災後の3日間程度を自らでしのげる食料・水等の備蓄などの呼びかけのほか、電気等のエネルギーの自給を促進します。

【地域の災害対応力の強化】

自主防災クラブの結成促進と地域版ハザードマップ作成の推進により地域防災力の向上を図ります。

地域が主体となって防災力強化に取り組めるよう、防災士資格取得支援制度の案内や防災体験型のキャンプ等を実施するなど、行政のサポート体制の充実について検討します。

【行政の災害対応力の強化】

発災時に即時的で的確な情報提供等を行うために、SNSなどを活用し、市民・地域・行政の普段からの情報共有体制の構築について検討します。

③ 熊本市都市マスタープランの見直し「地域別構想」(案)

市民の災害対応力の強化

○地域の防災リーダーとなる人材を育成するために、防災士資格を取得するための講座を開催し、防災士が活躍できる環境を整えます。



③ 熊本市都市マスタープランの見直し「地域別構想」(案)

行政の災害対応力の強化

○発災時に即時的で的確な情報提供等を行うために、SNSなどを活用し、市民・地域・行政の普段からの情報共有体制の構築について検討します。

市民 地域 行政をつなぐ！

熊本市公式LINEアカウントで、つながろう！

熊本市公式LINEアカウントつながりポイント

LINE

あなたにあった情報をお届け

登録時に選択した世代・性別・校区・欲しい情報をもとに、あなたにあった情報をお届けします。

「黒髪校区に住む
A子さん(30代女性)」

欲しい情報は
「健康」「子育て」を選択



「健軍校区に住む
B夫さん(60代男性)」

欲しい情報は
「イベント」を選択



校区の話題を発信!

市民と地域をつなぐため校区ごとの話題を発信します。

地域のイベントや活動



市役所職員が情報収集



市民の皆さん



熊本市公式LINEアカウントについては市ホームページ LINE特設ページへ



今後のスケジュール【第2次熊本市都市マスタープラン(地域別構想)見直し】

	H30 5月	6月	7月	8月
委員会				第3回 ●
意見聴取等	住民説明会 ➡	パブリックコメント ➡		
議会		報告 ●		
策定公表				策定 ★

END



④ 立地適正化計画
【H28.3】
参考

④ 立地適正化計画

日常生活に不可欠なもの

日常生活サービス機能
※医療、商業等

社会状況の変化

人口減少

日常生活サービス機能や公共交通
利用者が減少

利用者数の減少により、
日常生活サービス機能や公共交通は
衰退

自動車ですら遠方に買い物や通院するなど、
日常生活が不便
※特に、公共交通を移動手段とする高齢者は不便

移動しにくく
暮らしにくい

公共交通

社会状況の変化への備え

都市の骨格を守る
日常生活サービスが多く立地する **拠点** 利便性の高い **公共交通軸**

日常生活サービスや公共交通の
利用者を確保

骨格を含む周辺エリアにおいて
現在の人口密度を維持

人口減少下であっても、
公共交通機関を利用して移動が可能
拠点に行けば、必要なサービスを受ける
ことができる

移動しやすく
暮らしやすい

市民の暮らしやすさを維持したい
人口減少下においても、

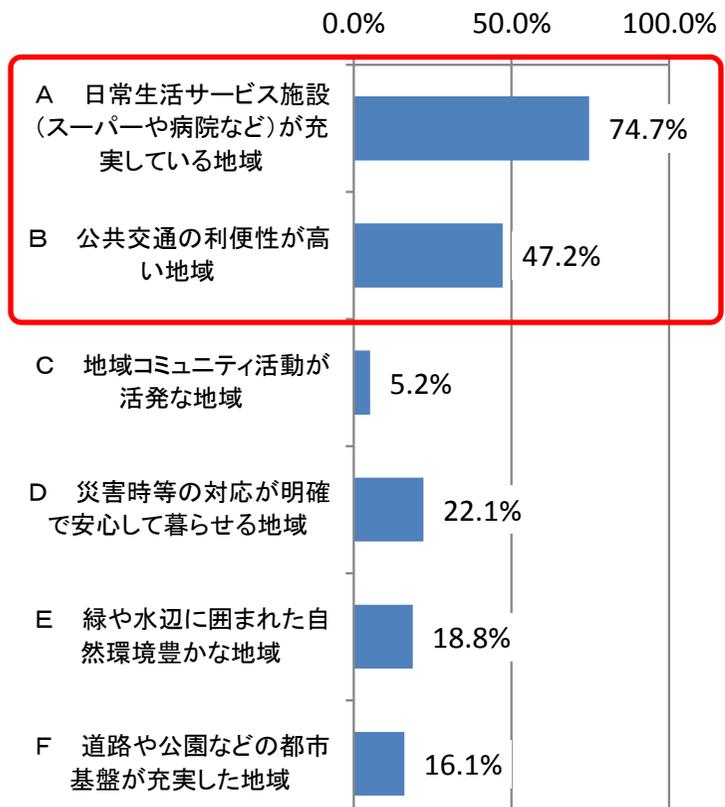
④ 立地適正化計画 「計画の概要」

目的

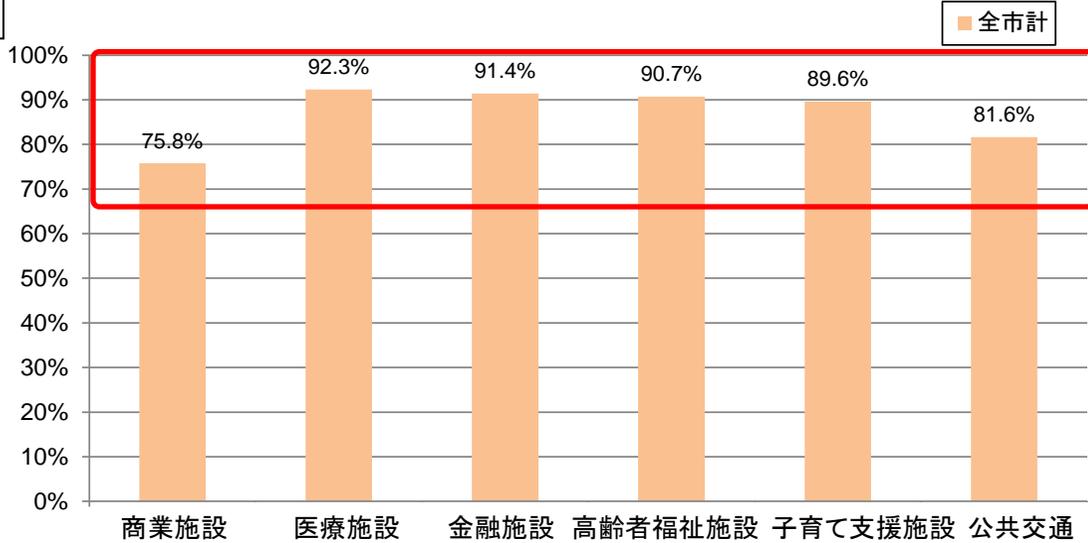
- 熊本市の**現在の暮らしやすさ**を、人口減少・超高齢社会においても**維持する**。
 - ・地域拠点で**商業・医療等の日常生活サービス機能を維持・確保する**。
 - ・地域拠点及び利便性の高い公共交通軸の沿線の**人口密度を維持する**。

●アンケート結果 (N=2,068)

問. あなたは、どのような地域に住みたいですか



各種施設の人口カバー率



※商業施設: 生鮮食品を取り扱う1,000㎡以上の店舗を対象に施設から半径800m圏域の人口を算出
 医療施設: 病院・診療所等を対象に施設から半径800m圏域の人口を算出
 金融施設: 銀行・信用金庫・郵便局(コンビニエンスストアを含む)を対象に半径800m圏域の人口を算出
 高齢者福祉施設: 通所介護事業所・小規模多機能介護事業所を対象に半径800m圏域の高齢者(65歳以上)人口で算出
 子育て支援施設: 保育所・幼稚園を対象に半径800m圏域の未就学の乳幼児(0~5歳)人口で算出
 公共交通: 駅・電停半径500m、全てのバス停半径300m圏域の人口を算出

④ 立地適正化計画 「計画の概要」

計画に定める事項(抜粋)

□ 都市機能誘導区域
※誘導施設（都市機能誘導区域に維持・確保すべき施設）

都市の拠点で、**商業・医療等の日常生活サービス機能を維持・確保**することにより、必要なサービスを受けることができる区域。

※都市機能誘導区域だけに日常生活機能を集めるものではありません。

(区域の設定)
・中心市街地
・概ね半径800m圏の地域拠点
※市街化調整区域、農用地区域、工業専用区域、災害リスクが高い地域等を除いて設定

□ 居住誘導区域

人口減少下においても、商業・医療等の日常生活サービス機能や公共交通が持続的に維持されるよう、**一定のエリアに人口密度を維持**する区域。

※居住誘導区域だけにしか住んではならないものではありません。

(区域の設定)
・都市機能誘導区域
・利便性の高い公共交通軸沿線

人口減少下においても、住民の暮らしを守る最後の砦となる

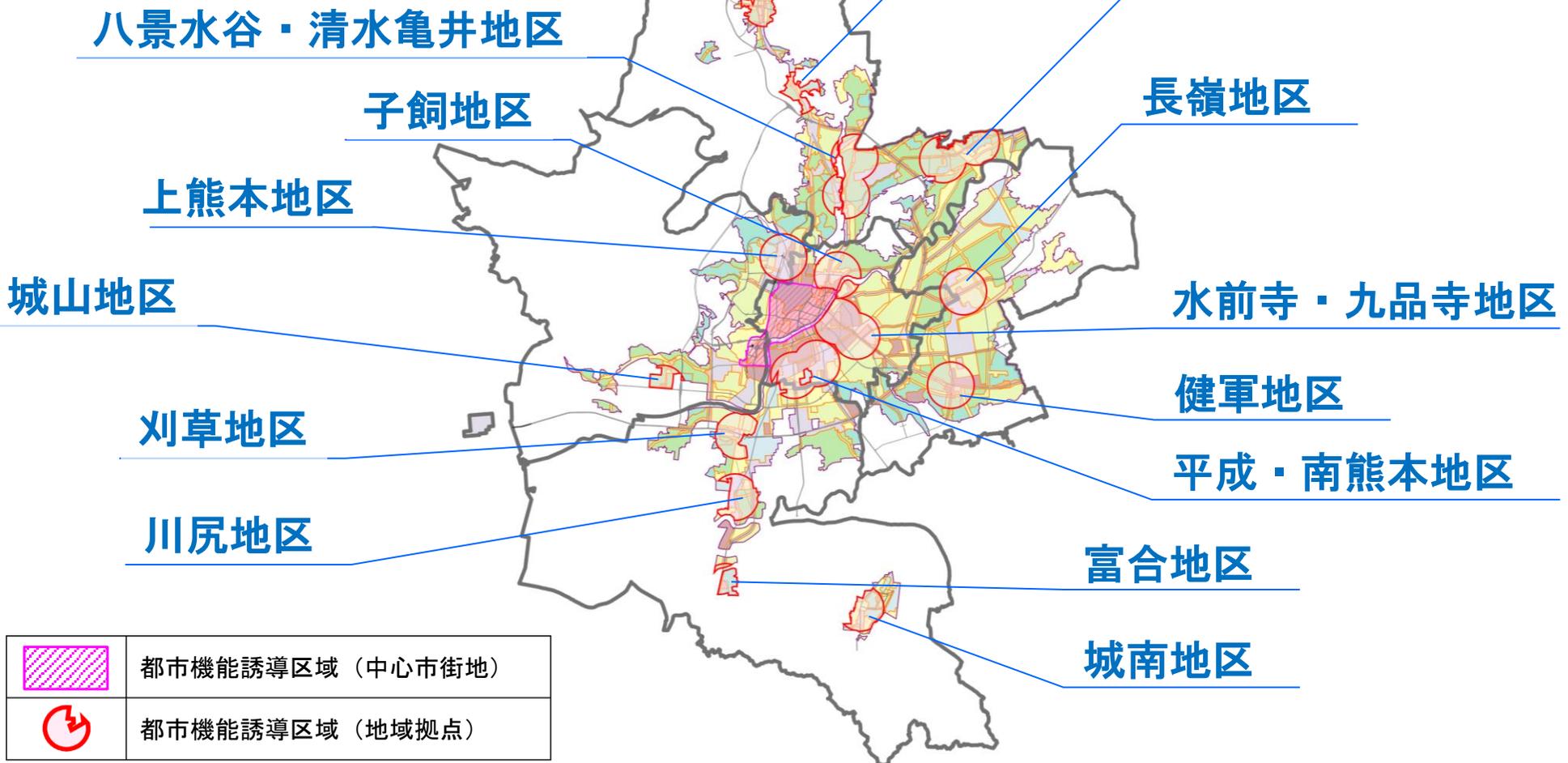
人口減少下においても、日常生活サービス機能や公共交通を持続的に維持できる

市民の暮らしやすさを維持

④ 立地適正化計画 「都市機能誘導区域」

	面積	人口
都市機能誘導区域 〔人口密度〕	3,146ha	192,974人 61.3人/ha
市街化区域面積と人口 (割合)	10,795ha 29.2%	644,441人 29.9%
市域面積と人口 (割合)	39,032ha 8.1%	734,474人 26.3%

※都市機能誘導区域外で誘導施設を有する建築物の建築行為又は開発行為を行おうとする場合には、市への届出が必要になります。



④ 立地適正化計画 「誘導施設」

- 全ての都市機能誘導区域内に各機能**1施設は維持・確保**
- 都市機能誘導区域には存在しないが、徒歩・自転車で移動可能な範囲の800m圏内に有する施設は**補完施設**

誘導施設

商業機能

生鮮食料を取り扱う、店舗面積1,000㎡以上の商業施設(共同店舗・複合施設等含む)

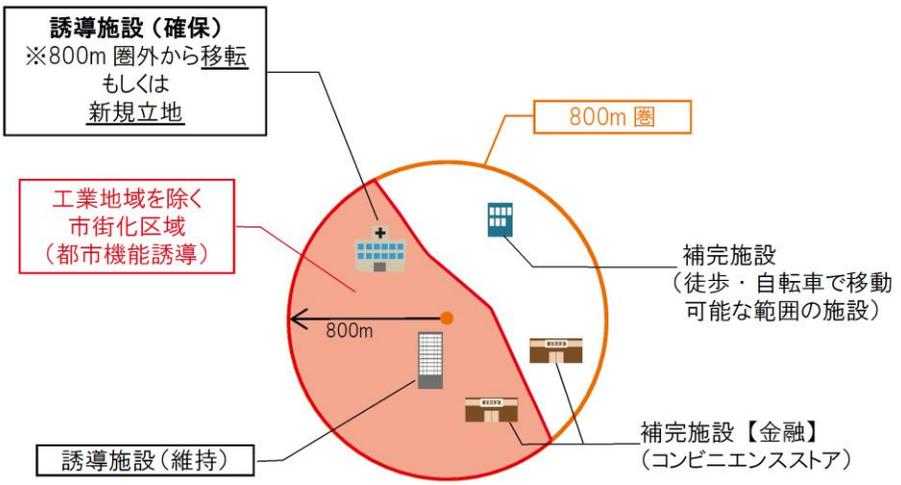
金融機能

入金可能な銀行等

医療機能

内科、外科・整形外科、小児科、歯科を診療科目とする、病院、診療所

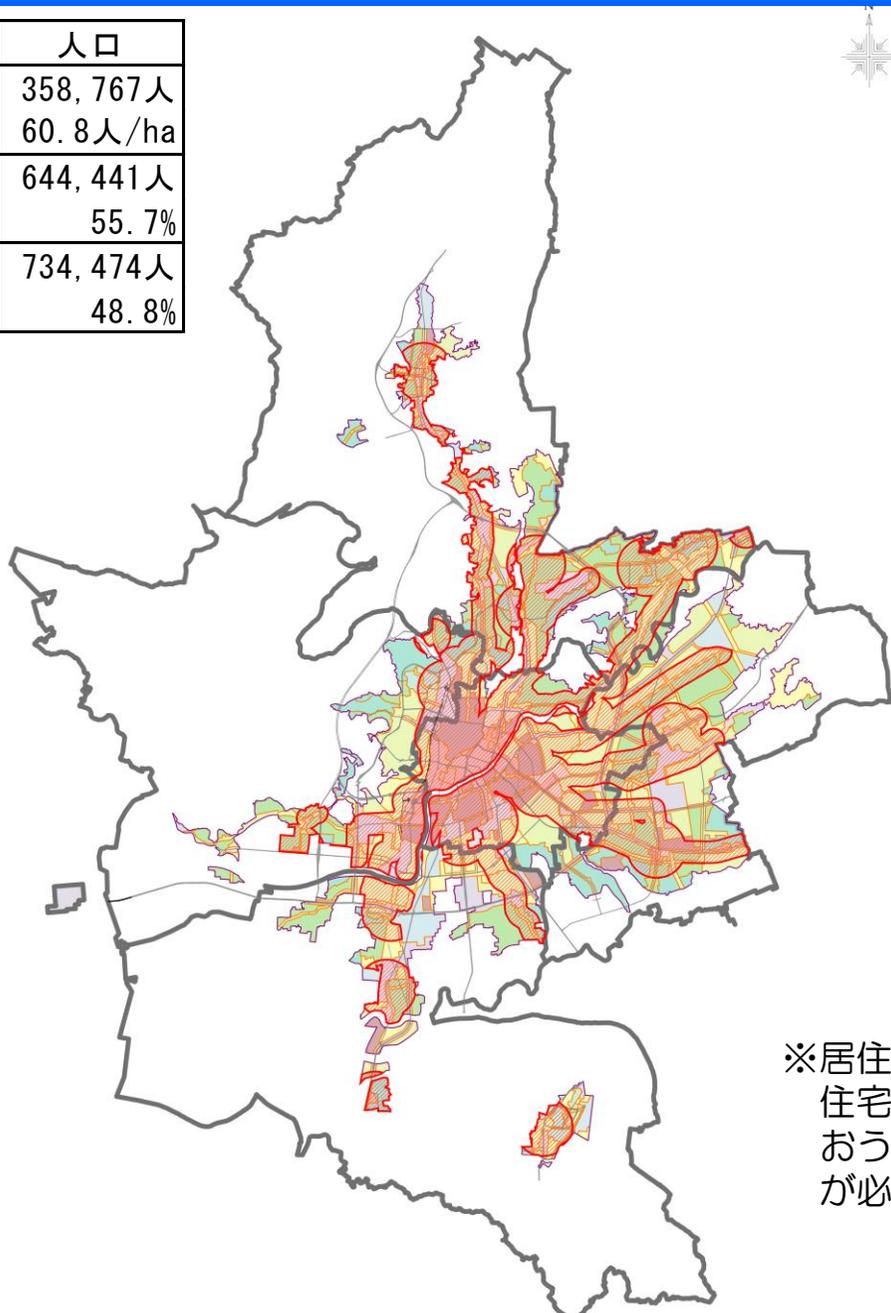
都市機能誘導区域名	商業機能	金融機能	医療機能			
			内科	外科整形外科	小児科	歯科
植木地区	●	●	●	●	●	●
北部地区	◆	●	●	●	●	●
楠・武蔵ヶ丘地区	●	●	●	●	●	●
八景水谷・清水亀井地区	●	●	●	●	●	●
子飼地区	●	●	●	●	●	●
長嶺地区	●	●	●	●	●	●
水前寺・九品寺地区	●	●	●	●	●	●
健軍地区	●	●	●	●	●	●
平成・南熊本地区	●	●	●	●	●	●
刈草地区	●	●	●	◆	●	●
富合地区	◆	●	●	○	◆	○
城南地区	●	●	●	●	●	●
川尻地区	●	●	●	●	●	●
城山地区	●	●	●	○	○	●
上熊本地区	●	●	●	●	●	●
中心市街地	●	●	●	●	●	●



- 誘導施設 (維持)
- ◆ 誘導施設 (確保)
- 補完施設

④ 立地適正化計画 「居住誘導区域」

	面積	人口
居住誘導区域 〔人口密度〕	5,904ha	358,767人 60.8人/ha
市街化区域面積と人口 (割合)	10,795ha 54.7%	644,441人 55.7%
市域面積と人口 (割合)	39,032ha 15.1%	734,474人 48.8%



 居住誘導区域

※居住誘導区域外で一定規模以上の住宅の建築行為又は開発行為を行うおとす場合には、市への届出が必要になります。

④ 立地適正化計画 「具体的な施策」

○基本的な考え方

本市の人口は、今後数年間は人口70万人規模が維持され、急激な人口減少が生じるものではない。しかし、長期的には大きく人口減少・高齢化が進展することが予測されており、暮らしやすい都市を維持するため、様々な施策を展開する。

●都市機能誘導区域における都市機能の維持・確保

(例) 中心市街地活性化、公有地の活用検討
福祉施設の補助採択基準の見直し など

●居住誘導区域における人口密度の維持

(例) 良好な居住環境のための基盤整備、空き家等低未利用地の活用 など

●公共交通ネットワークの充実

(例) 基幹公共交通軸の強化、バス路線網の再編、コミュニティ交通の導入 など ※熊本地域公共交通網形成計画等と連携

●地域コミュニティの維持活性化

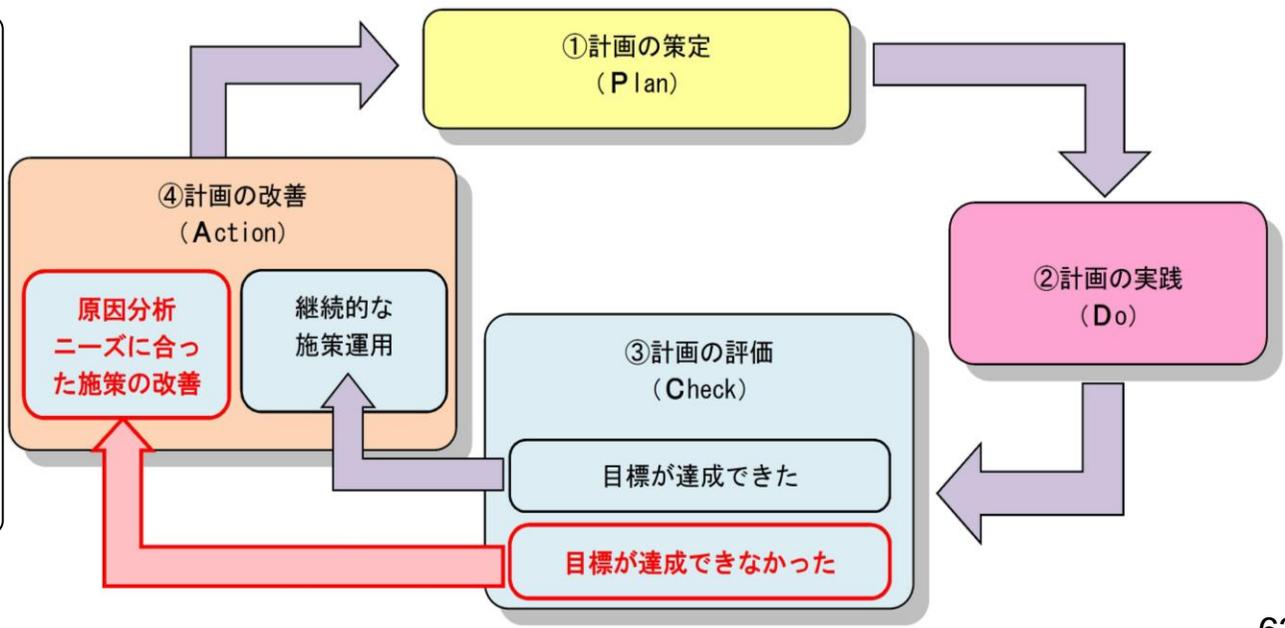
(例) 自然環境や農業・漁業生産環境の保全、地域コミュニティの維持活性化 など ※まちづくり支援制度の強化等と連携

④ 立地適正化計画 「目標値・評価方法」

○熊本市立地適正化計画の進捗管理のための目標値

		単位	基準値	目標値	
			H27	H31	H35 (H37)
① 都市機能に関する目標値	都市機能誘導区域内に維持・確保すべき誘導施設が充足している区域の数	区域	13 区域	-	16 区域
② 居住に関する目標値	居住誘導区域内の人口密度 (国勢調査ベース)	人/ha	(H22 国調) 60.8 人/ha	(H22 国調) 60.8 人/ha	(H32 国調) 60.8 人/ha
③ 公共交通に関する目標値	公共交通機関の年間利用者数 (総合計画、熊本地域公共交通網形成計画より)	千人	(H26 実績) 55,436	55,302	54,933 (54,708)

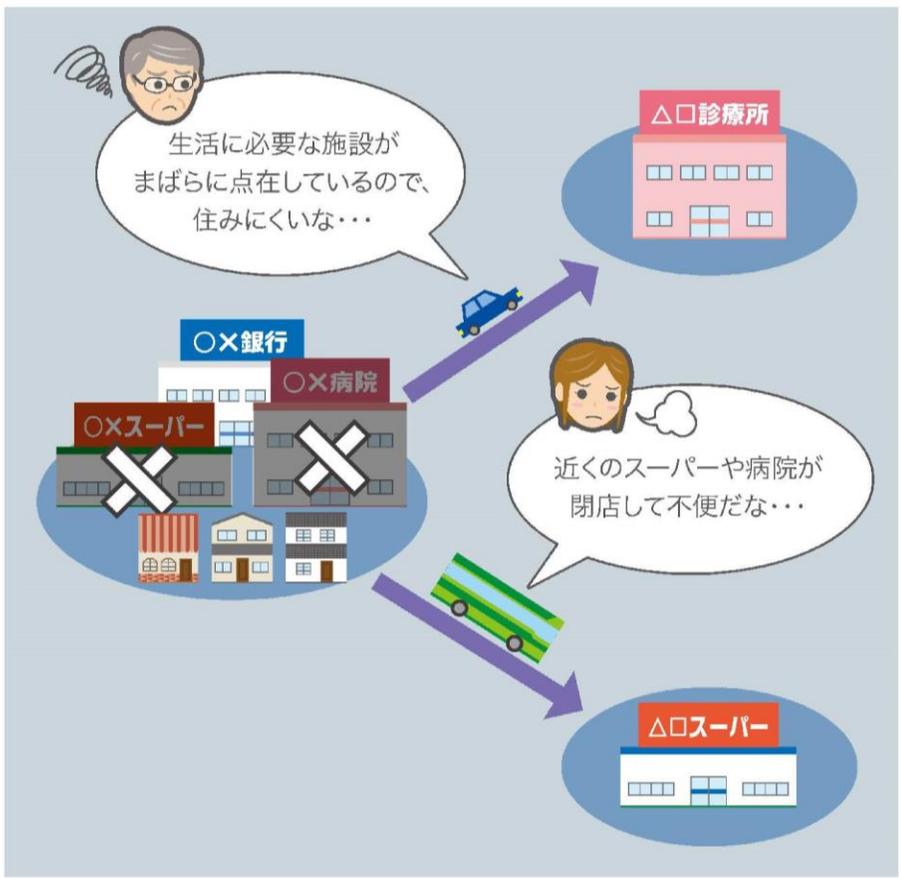
- 総合計画の見直し・更新にあわせて評価等を実施
- 「熊本市多核連携都市推進協議会」にて、社会に応じた施策を検討しつつ、新たな施策の盛り込みや既存施策の更新を実施



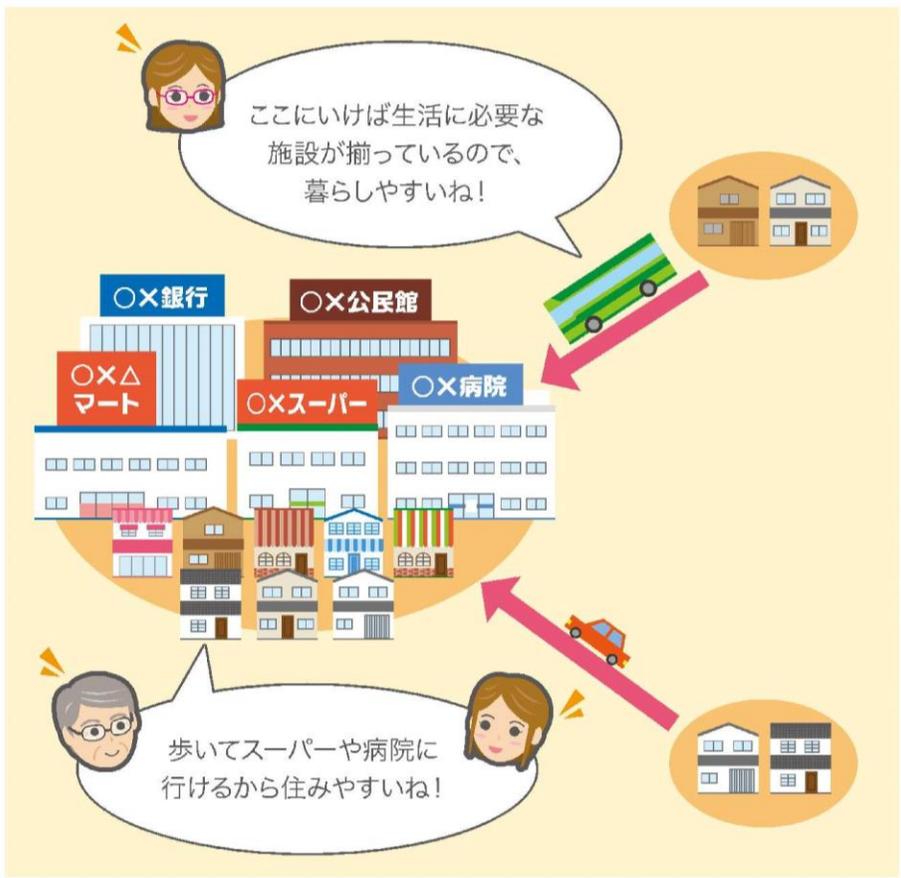
④ 期待される効果

① 生活利便性等の維持・確保

現状のまま推移



取組みを行うことで...



④ 期待される効果

① 生活利便性等の維持・確保

現状のまま推移

バスの便数が少なくなって、
買い物や通院、通勤・通学など
移動が不便だ...

平日	時	日曜・祝日
10	07	10
	08	
20	09	20
	10	
50	11	
	12	30
00	13	
20	14	
40	15	10
	16	
30	17	30

公共交通機関が無いから、
免許証を返納するのが
不安だな...

取組みを行うことで...

バスの利用者が多く、
便数も多いから、買い物や通院、
通勤・通学などの移動が便利!

平日	時	日曜・祝日			
00	10	07	10	30	50
20	20	08	00		40
00	20	09	00	20	40
10	40	16	10		40
00	20	11	00	20	
20	50	12	20	50	
10	40	13	10		40
00	20	14	00	20	40
20	50	15	20		50
00	20	16	00	20	40
00	10	20	30	40	50
		17	00		40

バスが近くを
走っているから、
買い物や病院に
行くのも便利!

公共交通機関が有るから、
免許証を返納しても
安心だね!

④ 期待される効果

② 中心市街地の活性化

現状のまま推移



取組みを行うことで…



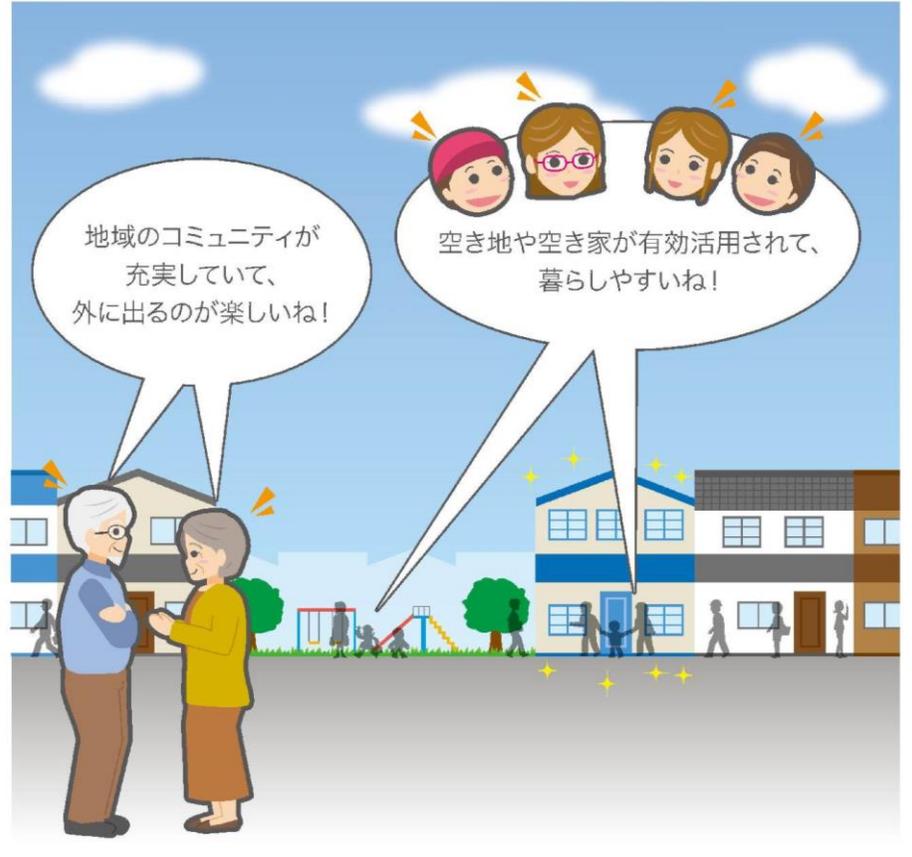
④ 期待される効果

③市街地の安全性の向上

現状のまま推移



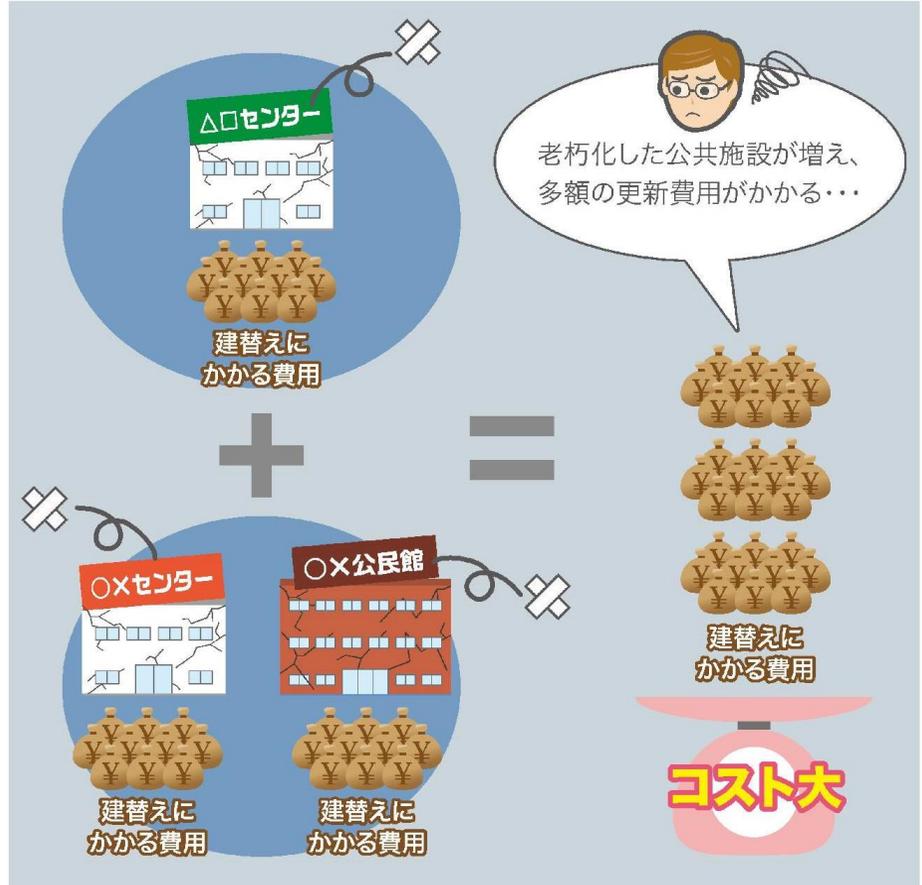
取組みを行うことで...



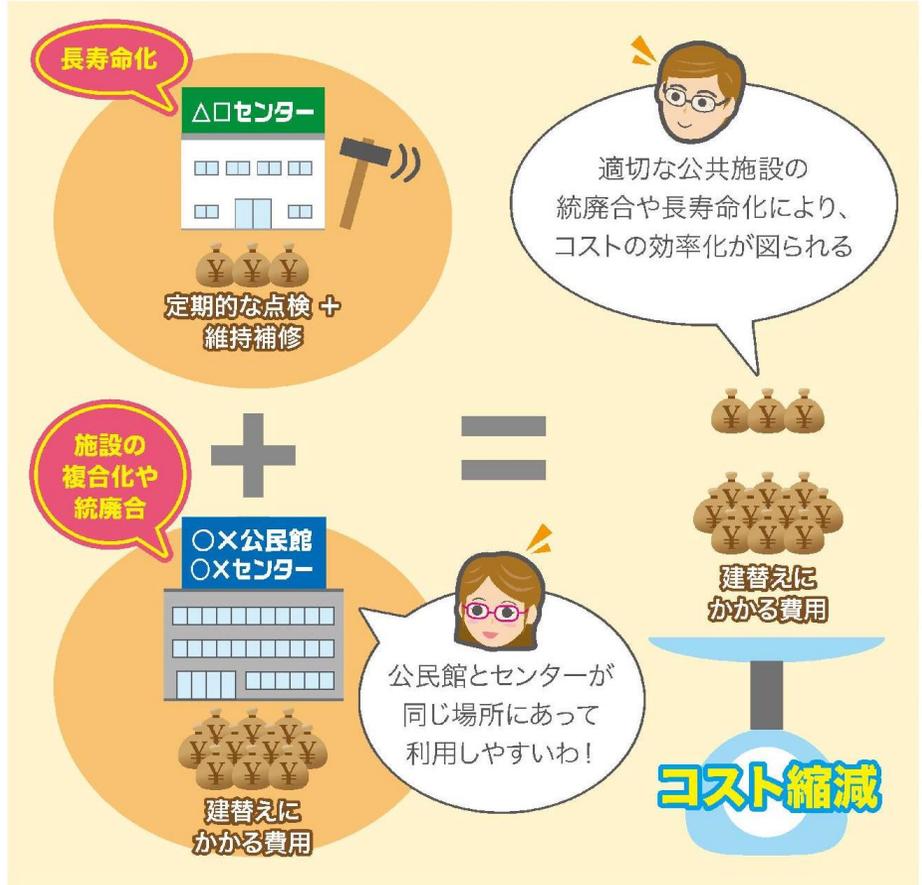
④ 期待される効果

④都市経営の効率化

現状のまま推移



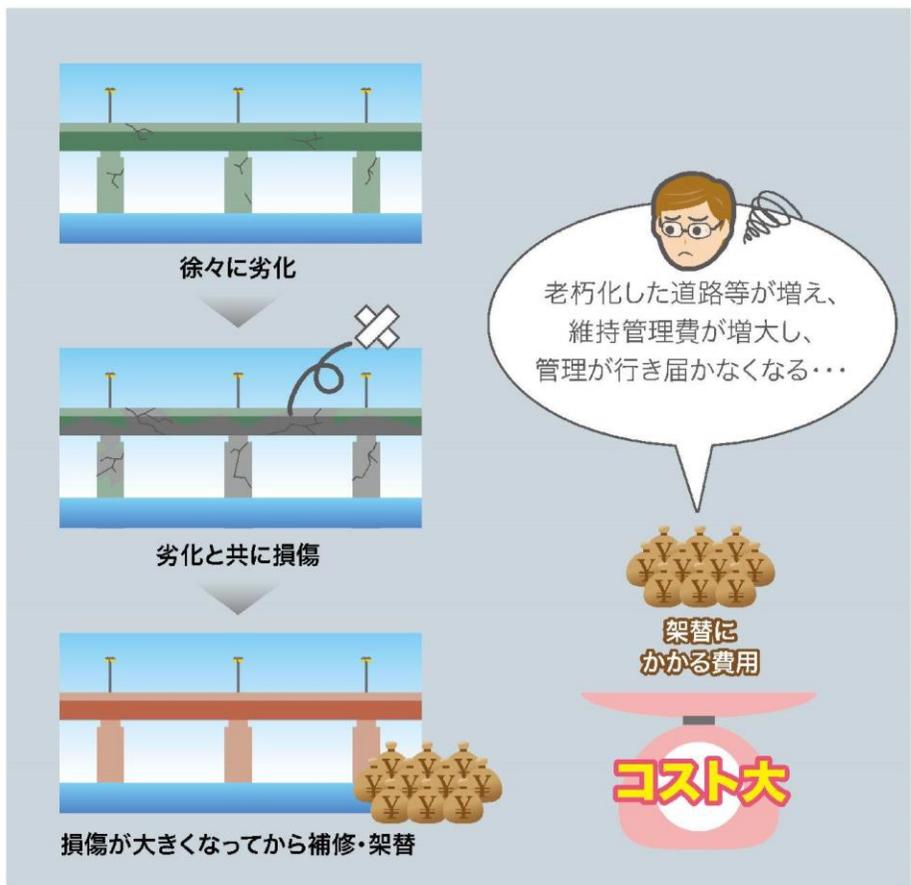
取組みを行うことで...



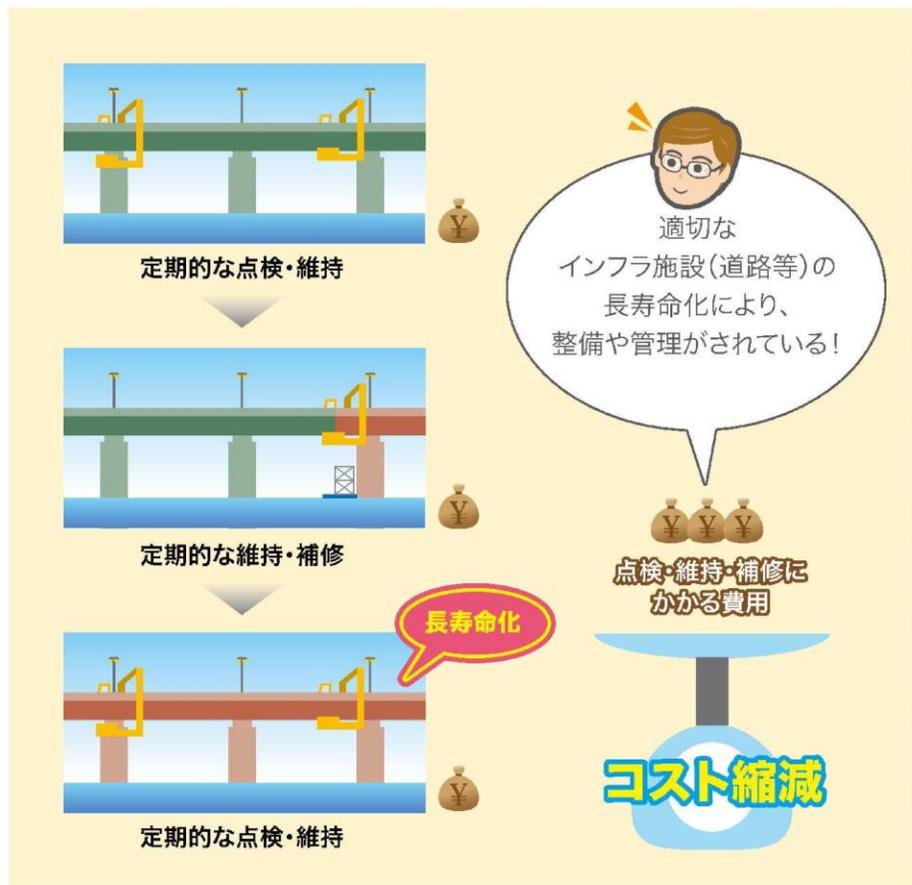
④ 期待される効果

④都市経営の効率化

現状のまま推移



取組みを行うことで...



END

